



近藤圭纂  
造輯

輿地誌略

合衆國誌

三

ル 2  
3251  
3









門 2  
號 3251  
卷 3



輿地誌略卷三 西半球之部

近藤圭造 纂輯

阿海阿邦、北緯三十八度二十四分ヨリ、四十二度ニ至リ、  
東經百三十五度三十三分ヨリ、百三十九度四十一分ニ  
盡ク、表面六千六百八十方里アリ、北米州ニ接シ、又依里  
湖ニ連リ、東邊邦費邦ニ鄰リ、南建邦ニ界シ、西音邦ニ至  
ル、域内分ツテ八十七郡トス、人口二百六十六萬五千ア  
リ、  
地形方正形式ヲ為シ、東南一角ノ位微缺ス、邦北依里湖

輿地誌略

卷三

阿海阿邦

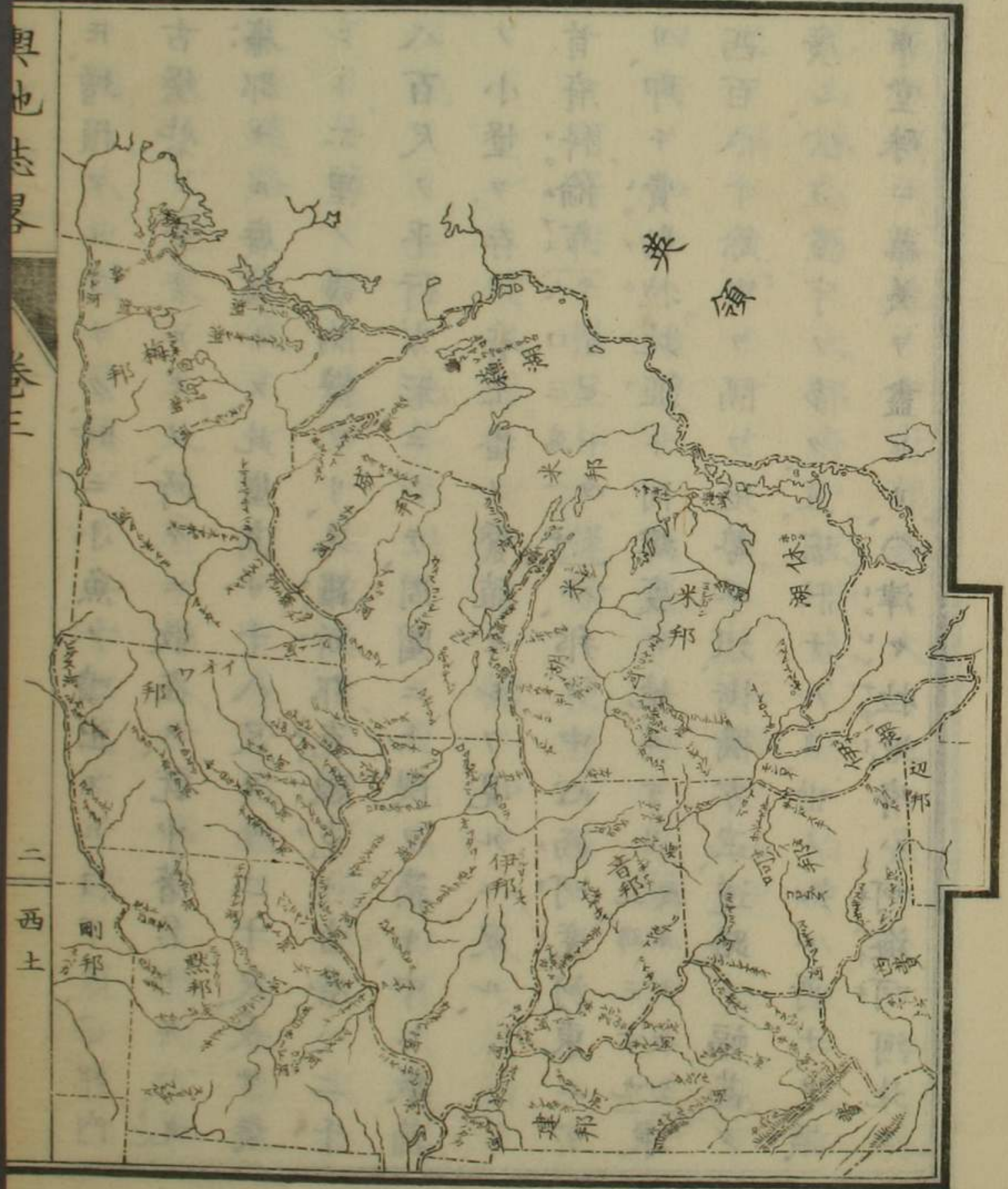
一

西土





あり、南ニ河海呵大河あり、河湖ニ近キノ地、皆一望坦平  
 タリ、タゞ邦中岡阜相接シ、地形隆起ス、故ニ邦北ノ諸河  
 皆分レテ依里湖ニ入ル、邦南ノ河穆士敬翁西呵度米亞  
 密等ノ如キ、皆分ツテ河海呵河ニ入ル、地氣邊邦ノ東境  
 ニ比スレバ稍暖ナリ、産スル所、邦ノ東部ハ、煤鐵及ビ林  
 木甚ダ多シ、又鹹泉鹽井等アリ、井ノ深キモノ七八農圃  
 極テ佳ナリ、秣米及ビ綿羊毛、出ス所最モ多シ、  
 邦内ノ奇勝維廉斯郡ブリヤンニ天然ノ噴泉アリ、水ノ  
 深サ四五十尺、人民日用ノ供給多シト雖、水脈々トシ  
 テ來ル、其便言フ可ラズ、蓋シ此泉、地下ニ大湖アリ、水滿  
 テ噴出スルナラント云フ、故ニ泉水霖雨洪水ノ時ト雖



輿地志略

西土



氏増損アルヲナク、時ニ小魚ノ噴出スルヲアリ、○邦内  
 古堡砦ノ大ナルモノ、所々ニ散在ス、就中著名ナルハ、瓦  
 廉郡ナル廢墟トス、此堡高サ十八尺ヨリ二十尺、長サ幾  
 シト二里ノ護胸壁アリ、又羅斯郡克臘克ノ古砦ハ、二千  
 八百尺ノ平行方形ニシテ、周圍ニ土隄ヲ築キ、中ニ數箇  
 ノ小堡ヲ存ス、皆土番ノ繁殖セシヲ見ルニ足ル、  
 首府科倫布人口三萬一千ハ、邦ノ中心西呵度河東ニア  
 リ、即チ費勒拉比亞ト同緯度ノ地ニアリ、北緯三十九度五十七分東  
 西百八十餘里ヲ隔ツ、地勢平坦、街衢方正、道路ノ幅甚ダ  
 廣シ、公立堂宇ノ多ク、且、宏壯ナルヲ、世ノ知ル所ナリ、議  
 事堂殊ニ華美ヲ盡セリ、○津々津拉地府ハ、呵海呵河北ニ

在リ、同河谷地ノ中府郭、最モ大ニ、人口最モ多シ、押利掩  
 尼山脉以西ノ大都府中、紐呵連尼斯ニ伯仲ス、故ニ或ハ  
 之ヲ稱シテグインオフウエスト西部ノ王府ト云フ、其第  
 四街ノ如キハ、雄峻ナル巨屋多ク、極テ熱鬧ノ地タリ、  
 イシ河、府内ヲ横互シテ、運輸ノ便頗ル善シ、タイリルダ  
 ビ、ドソンノ噴水器、カルリシ館ノ如キハ、寂モ屈指ノ  
 偉觀ナリ、全府ノ地勢平坦ナラズ、府北高臺四百尺ノ山  
 アリ、屏障ノ如ク連ル、一佳地ナリ、此府呵海呵河ノ水路  
 及ビ鐵路ノ至便ナルヲ以テ、貿易繁盛、猶日ニ月ニ盛大  
 ヲ致スノ景象アリ、又此府ヲ以テ、世界第一ノ豚肉市場  
 ト稱ス、人口頓ニ繁殖シテ二十七萬六千餘ニ至レリ、○



克里比蘭府八百二十九ハ、依里湖ノ崖上ニ在リ、人口  
 ノ多キ、邦中第二ニ居ル、街衢美麗ニシテ、商賈繁昌ノ都  
 府ナリ、府ノ中心廣サ十「エーガル」ノ公園アリ、園ノ中心、  
 依里湖戦争ノ時、著名ナル勇將「コムモドル」ペルレイ氏  
 ノ像アリ、其礎石高サ十二尺アリ、洛哀倫ノ大理石像ハ、  
 印甸ノ大理石ヲ以テ造ル、國中大理石造ノ第一等ナルモノ高サ八尺二  
 寸、前面又同石ノ大記念錢ヲ造リ、ベルレイ氏彼戦ノ間、  
 小舟ニ乗ジテ、勞稜斯河ヨリ、尼亞吉拉ニ航スルノ狀ヲ  
 彫刻セリ、又園中大ナル噴泉アリ、壯觀ノ一ナリトス、○  
 他ダイト頓トリド三サン他ダ斯基ス及ジヤネスビル等ノ都府アリ、  
 又「マリツタ」府ハ、邦中ノ古府タルヲ以テ著名ナリ、

此地千七百七十年、歐人西北方ヨリ來リ、始テ荒地ヲ  
 開キ、三十一年後、始テ官ヲ置キ、聯邦ニ歸ス、  
 聯邦立國ノ始メヲ考ルニ、諸邦皆属地アリ、呵河以西  
 ニアリ、音邦インヂア、呵邦オハイオ、伊邦イリ等ノ如キ是ナリ、時ニ戦争未ダ  
 息マズ、需費尚多シ、公議シテ各属地ヲ國ニ輸ス、凡ソ  
 是地ヲ欲スル者アレバ、銀ヲ國ニ入レテ之ヲ購ヒ、兵  
 費ノ用トナス、是ニ於テ定例アリ、其地ニ居スル者、人  
 數ノ定額滿レバ、部トナリ、邦トナルヲ聽ス、呵邦ノ如  
 キハ、其最モ先ツ自立スルモノナリ、  
 米世幹邦四百十五、北緯四十一度四十分ヨリ、四十七度四十分ニ



至リ、東經百二十九度四十一分ヨリ、百三十七度五十分ニ盡ク、表面九千四百十五方里アリ、北蘇比拉湖ニ界シ、東休倫依里等ノ湖ニ接シ、南呵邦音邦ニ連リ、西威邦ニ鄰リ、米詩干湖ヲ以テ界ト為ス、域内分ツテ六十四郡トス、人口百三十三萬四千アリ、千八百七十四年表地勢、四大湖ノ間ニ處スルヲ以テ、水陸分ツテ九分ト為ストキハ、水三分ノ餘ヲ得、陸五分ノ餘ヲ得ル、地勢、湖水ノ為ニ阻セラレ、截然中斷ス、南地皆平原ニ屬シ、北地マ、小山アリ、高キモノ二十丈ニ至ル、山ニ鹽井アリ、又藥泉アリ、地土沙礫多シ、能ク銅鐵ヲ産ス、銅ノ多キ、國中此邦ヲ最トス、邦中ノ小河少ナカラズ、均ク諸大湖ニ散

入ス、湖水各種ノ魚鳥ヲ産シ、生育極テ蕃シ、農圃出ス所、五穀モ亦佳シ、邦中ノ奇勝桑馬理海峽ノ西、凡ソ二十五里、著名ナル、維米爾土崑アリ、此崑各種ノ顔科ヲ具シタル砂石ヨリ成立ス、大抵此地千古風濤ノ衝ニ當リ、皮膚消剥シテ、神骨獨リ存シ、嵌ヲ為シ、巖ヲ為シ、峯巘ヲ為シ、洞穴ヲ為ス、怒猊奔驥ノ如キアリ、危塔穹閣ノ如キアリ、削峭ノ工、一モ圓刊ナルモノナシ、又得拉岩アリ、直經三尺ヨリ七尺ニ及ビ、高サ四十尺ノ圓筒形ノ四柱ヲ具形シ、厚サ八尺、經リ三十尺ノ椽木狀ノ崑ヲ以テ支フ、其狀恰モ欄干ヲ繞ラス如シ、凡ソ五六里間ニ連互シ、其高サ水上慨三百尺



桑馬理峽



桑馬理峽

ノ石頭城ヲナス、岩上所々瀑布アリ、險崖ヨリ噴飛ス、故  
 ニ其下ヲ通行スル舟ハ、岩壁ト瀑布ノ中間ヲ掉シ過ク、  
 秀巖危泉、千態萬狀、左顧相見テ別ナリ、右顧スレバ又來  
 ル、前船相見テ別ナリ、後船又來ル、風色、人ヲ追フカ、人、風  
 色ヲ戀ルカ、舛午惘恍トシテ、思議ス可ラス、  
 首府覽星ハ克蘭多河畔ニアリ、府ノ近傍モト荒蕪ノ地  
 タリ、千八百四十七年、始テ邦政ノ出ル所トナリシヨリ、  
 頓ニ開化シ、商賈雲集ス、府下水利ヨキヲ以テ、水カヲ用  
 ユル所ノ製造局多シ、人口七千四百余、○地推來耶府、同  
 名ノ河岸依里湖上ヨリ七里半程ニ在リ、極テ良港ナリ、  
 港内深廣ニシテ、至大ノ船艦ヲ泊スルニ足ル、又鐵路各



地ニ通ジ、貿易盛大ナリ、加拿他ノ通商ヲ最トス、市街廣大ニシテ、建築モ亦頗ル高宏ナリ、此府千六百七十年佛人ノ經營ニ係ル、人口凡ソ十萬余、○克蘭多拉比的人口五千九百ハ、來星河ノ急流ニ在テ、内部ノ要都タリ、○アドリヤン府ハ、來星河ノ支流ニ瀕シ、活潑ナル貿易場アリ、○加羅摩索府ハ、同名ノ河畔ニ在リ、人口ノ頓カニ繁殖セシト、製造ノ盛大ナルヲ以テ名アリ、邦中ノ狂院アリ、○安亞爾波爾府ニ著名ナル大學校アリ、邦内建築ノ主眼ナリ、克蘭多巴芬府ハ、米詩干湖上克蘭多河口ニ在リテ、貿易ノ要區タリ、ホルト、アロン、門羅義、奈羅斯及ビ惹克遜等、皆繁榮ノ府ナリ、

此地、佛人ノ開ク所、二百六十三年前ニ在リ、百年ヲ經テ、佛ノ傳教師至ル者衆シ、始テ地推來耶府ヲ立ツ、百十年前、英人之ヲ得タリ、聯邦立ツニ及ビ、之ニ歸ス、然レ邦ヲ為スニ至ラズ、三十七年前、始テ議會ヲ啓ケリ、

音地亞那邦

音地亞那邦、北緯三十七度五十一分ヨリ、四十一度四十六分ニ至リ、東經百三十二度十三分ヨリ、百三十五度二十六分ニ盡ク、表面五千六百五十八方里アリ、北、米邦ト米詩干湖ニ界シ、東、呵邦ニ鄰リ、南、建邦ニ接シ、西、伊邦ニ連ル、域内分ツテ九十一郡トス、人口百六十八萬一千アリ、

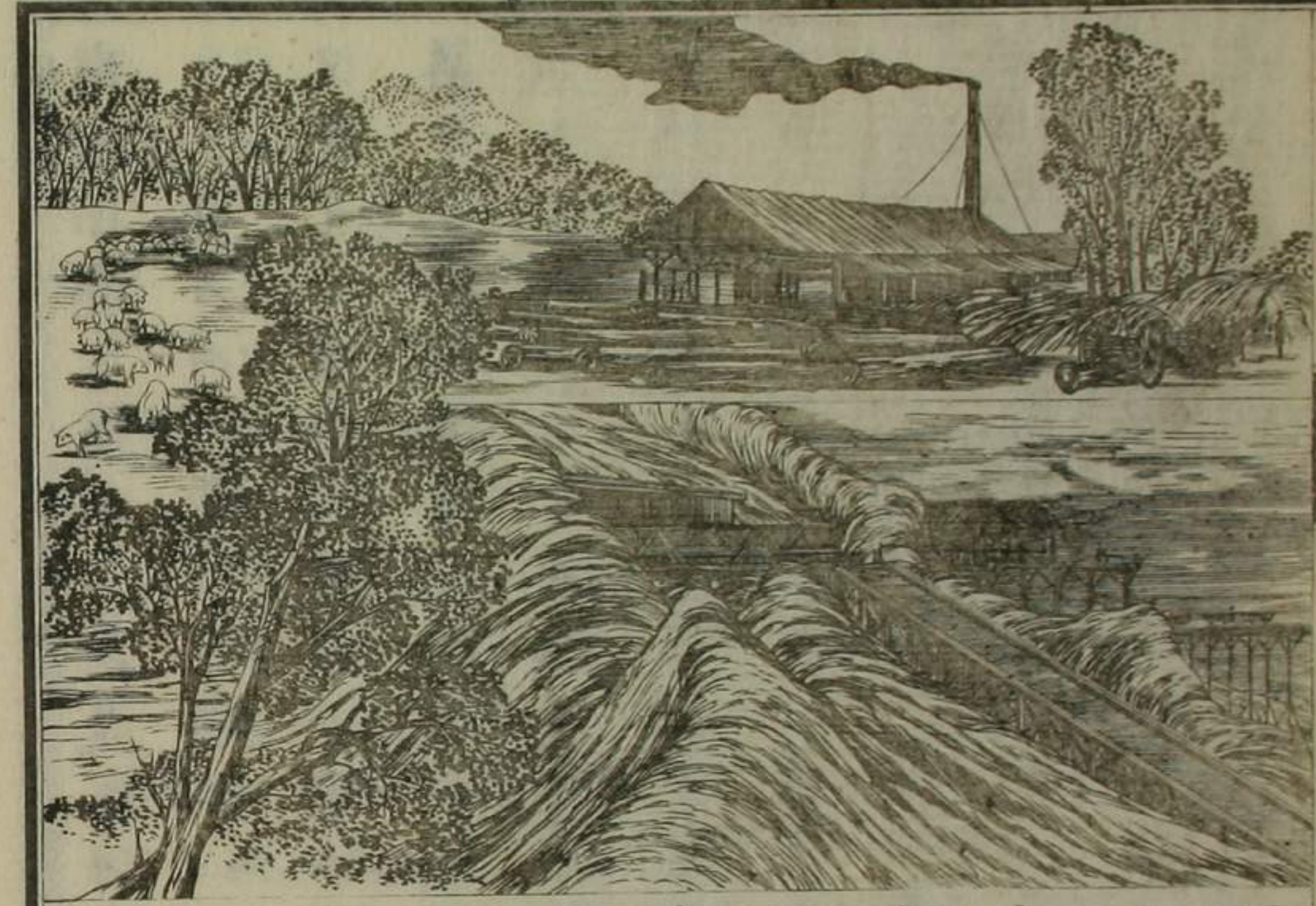


地勢、邦内崇山峻嶺ナシ、ホ、小山アルニ過ギズ、山煤鐵  
 ヲ産ス、大木多ク、松杉椴楓榆木綿等ノ樹ヲ出ス、又鹹泉  
 アリ、西北小湖甚ダ多シ、其大ナルモノヲ海驛湖ト曰フ、  
 是處地土微ク卑濕セリ、邦中華帕是河アリ、東ヨリ西ニ  
 貫流シテ、伊邦ト交界ノ處ヲ為ス、又南ニ呵海呵河アリ、  
 皆本邦最便ナル水路トス、華呵ニ水近傍ノ地ハ、地形悉  
 ク坦平ニシテ、沃土ナリ、此邦農ヲ務ルノ家極テ多シ、桃  
 梅蘋果葡萄核桃ノ佳果ヲ産ス、又廣ク牛馬禽獸ヲ畜フ  
 一夥シ、二十一年前ノ統計表ニ、馬騾凡ソ三十餘万頭、牛  
 八十萬頭、羊九十餘万頭、豕三百七十萬頭アリ、當  
 時該邦人口百十九萬ニ比較スレバ、男女老  
 少ヲ該算シテ、一人ニ四頭ヲ畜ルニ當レリ、  
 邦内奇觀ノ最タルモノ、オウエン塞因郡ナル依爾河ノ瀑布、及ビ

痾倫治郡ノ羅斯多河是ナリ、此河幅員凡五十尺アリ、流  
 レヲ發スルノ後、乍チ地下ニ隱没シ、四里半程ヲ隔テ、  
 又地上ニ噴出ス、河名ノ起ル所以ナリ、ロストハ失亡ノ  
 義ナリ、クラウボ朗波爾多郡ノヤンドト洞ハ、二洞アリ、舊洞新  
 洞ト名ク、長廿九里、幅員最モ廣キ所三百尺、最モ高キ所  
 二百四十五尺ニ及ビ、洞中鍾乳石多ク、種々ノ形象ヲ為  
 スモノ垂々タリ、概シテ之ヲ言ヘバ、其廣大ニシテ奇勝  
 ナル、建邦ノマムモウス洞ニ讓ラズ、  
 首府音地亞那波列士ハ、邦ノ中心、ホワイト河ノ西ニア  
 リ、府モト廣漠タル平地ニ經始スルヲ以テ、街衢ノ方正、  
 基局ノ如ク、街道甚ダ廣シ、就中華盛頓街ノ如キハ、廣サ



工場二圖



百二十尺、狭キモノ六十尺  
アリ、高堂大廈ノ華美ナル  
亦尠ナカラズ、府民殊ニ教  
育ニ注意シ、學校ノ設ケ頗  
ル多シ、此府又鐵路ハ遠ニ  
達スルヲ以テ、貿易特ニ盛  
大ヲ致セリ、人此府ヲ鐵路  
ノ總會ト云フモノ、各邦ノ  
瀛車皆此ニ會聚スレバナ  
リ、東路ハ呵邦ノ地列頓ニ  
通ス、凡ソ三十餘里、東南路

ハ津々拉拉地ニ通ズ、凡ソ三十七里、南路ハ二條アリ、一ハ  
馬地遜ニ通ズ、凡ソ三十里、一ハ遮費爾孫威里ニ通ズ、凡  
ソ六十里、西路ハ地理的好ニ通ズ、凡ソ二十餘里、西北路  
ハ拉非邑的ニ通ズ、凡ソ二十里、北路ハ皮魯ニ通ズ、凡ソ  
二十五里、東北路ハ元任西地ニ通ズ、凡ソ二十八里、密斯  
昔比河以東ノ諸邦ヲ總計スルニ、凡ソ商賈ノ來往スル  
貨物ノ出入スル、未ダ是府ニ會セザルモノアラズ、蓋シ  
此府鐵路ノ要衝タレバナリ、府中又各種ノ製造局ニ富  
メリ、特ニ製紙場蒸瀝機關等ヲ最大ナリトス、人口四萬  
八千二百餘アリ、○紐亞爾波尼府ハ、邦中第二ノ都府ニ  
シテ、呵海呵河畔ニ在リ、建邦ノロイスビルト呵海呵



河ヲ挟ミテ並立ス、兩府ノ貿易製作ヲ競ヒ、中間ノ大河  
河船ノ上下、極テ形便ヲ得ルヲ以テ、此府繁盛ヲ得ルノ  
速カト、蒸氣船製造ノ盛ナル、驚クベシ、人口凡ソ一萬五  
千餘、○イバンスビル府八百二十萬一千亦呵海呵河ニ瀕  
シタル都府ニシテ、著名ナル煤炭礦アリ、又此邦南西ノ  
諸物産ノ輸積出ニ緊要ナル埠頭タリ、此外ラフ、エツトテ  
ルリホ、トマジソンリ理治門ド的惹葉爾遜比等ノ諸府、皆要  
區ニアルモノトス、

此地千七百年、佛人始テ開墾シ、六十三年ヲ經テ、英人  
ノ為ニ奪ハレ、後聯邦ニ歸シ、五十八年前、始テ邦會ヲ  
立ツ、

伊利那倚邦

伊利那倚邦、北緯三十七度ヨリ、四十二度三十分ニ至リ、  
東經百二十八度四十七分ヨリ、百三十二度二十六分ニ  
盡ク、表面九千二百七十四方里アリ、北威邦ト接シ、東北  
米詩干湖ニ連リ、東音邦ニ鄰リ、東南建邦ニ界シ、西南ト  
西ト默邦愛邦ニ鄰ル、域内九十九郡ニ分チ、人口二百五  
十三萬九千アリ、  
地勢、邦西ニ密斯昔比河橫流シ、東南ニ華帕是河アリ、邦  
中又伊利那倚河、格斯格斯亞河等、及ビ諸小河アリ、悉  
ク各地勢ニ隨テ、順流下注ス、故ニ北米詩干湖ニ入ルア  
リ、又西密斯昔比河ニ入ルアリ、東華帕是河ニ入ルアリ、



皆邦中ノ地、小山多クシテ、之ヲ隔ツニ縁ル、山ハ銅鐵煤炭及ビ佳木ヲ産ス、鉛ヲ出スト最モ多シ、田土極テ膏腴ナリ、地氣嚴寒酷暑ナシ、山芋、秫、米、稻、麥、荀、及ビ各種ノ佳果ヲ産ス、又飛禽野獸多シ、邦内平野多ク、綠草紅卉、渺然際ナキモ、又一種ノ好風景ヲ見ル、其他奇勝ト稱スルモノ、水崖ニアリ、崖岸水中ニ脈出シ、峭壁峨々タリ、山勝水嬉ノ地頗ル多シ、殊ニ著シキモノ、密斯昔比河岸ニ若クハナシ、其高サ百尺ヨリ、四百尺ニ至ル懸崖アリ、一曲毎ニ奇趣アリ、特ニ惹克遜郡ニ属スル同河ノ中間、雞卵狀ヲ為セル奇地ノ如キハ、周圍四里半、高サ三百尺ニ及ブ、甚ダ異觀ナリ、又伊利那倚

河畔ニ、スタルブト<sup>斯塔ルブト</sup>崑<sup>鐵ノ義ナリ</sup>及<sup>ローベル、リープ</sup>崑アリ、スタルブト崑ハ、石灰石及ビ砂石ヨリ成立シ、河上ニ突出スルコト百五十尺アリ、此崑上、曾テ伊利那倚ノ印甸人一隊、ボタワトマイスノ攻圍ヲ脱シ、此ニ隱匿シ、終ニ皆餓死セシト云ス、ローベルト<sup>ローベルト</sup>崑ハ、同河上ニアレ氏、地較隔絶ス、頗ル峻崑ノ稱アリ、此ニ對シテ百肺<sup>百肺</sup>崑ト稱スルアリ、高サ一百尺アレ氏、漸々層累スルヲ以テ、峻險ナラズ、印甸人、時ニ来リテ、水牛ヲ驅ル、皆鬨聲ヲ揚ゲ、羣牛ヲ脅シ、崑上ヘ追聚シテ之ヲ捕フ、故ニ名トス、<sup>半岩ノ義ナリ</sup>○巴爾信郡<sup>巴爾信郡</sup>呵海<sup>呵海</sup>河畔ノ崖上ニ一大洞アリ、崑石崎嶇トシテ、種々ノ形状ヲナシ、洞中極テ廣



ク、洞ロヨリ漸ク登リ、深サ百八十尺ニ及ブ、傳ヘ云フ、兇賊此中ニ隠レ住ミ、通船ノ荷物ヲ奪ヒ、或ハ旅人ヲ脅掠セシト云フ、

首府士兵非里ハ、産加猛河ノ南、一里餘ニ在リ、街衢平廣、府ノ中心公園アリ、議事堂及ビ他ノ官局、多ク近傍ニ在リ、鐵路各地ニ通ズル繁昌都府トス、人口凡一萬七千餘、○市高俄府ハ、米世幹湖ニ瀕シ、邦中最大ナル都府ニシテ、内外貿易ノ要區タリ、又雜穀類及ビ材木ノ市場ニ於テ、世界第一ニ居ル、豚肉ヲ輸出スルコト、亦國中ノ一二トス、米詩干湖口ニアルヲ以テ、漁船四大湖ノ諸港ニ達シ、又ウエルランドノ運河ヲ鑿リテ、聖勞稜斯河ニ通ズ、鐵路

亦密斯昔比及ビ呵海呵二河上ノ諸府、及ビ聯邦中ノ大都府ニ達ス、府内家屋ノ建築峻美ヲ究ム、其人口繁殖ノ速ナルト、殷富ナル景象、他邦多ク其比ヲ見ズ、蓋シ府内ノ人口千八百三十七年、タゞ四千五百口アリ、二十九年ノ後、十七萬五千ニ増加シ、千八百七十年ノ計表ニハ、二十九萬八千九

市高俄府





百七十七ニ繁殖セリ、○ペオリヤ府ハ、伊利那倚河濱ニ在リ、人口ノ多キ、邦中第二ニ居ル、○克因塞府人口二十万ニハ、密斯昔比河濱ニ在リ、商買ノ便利ヨク、人口ノ多キ、邦中ノ第三ニ居ル、○加利那府、亦密斯昔比河ニ近ク、多ク鉛鑛ヲ産スルヲ以テ著名ナリ、鉛鑛之ヲ取レテ盡キズ、之ヲ用レテ竭キズ、此他、アウロラルボ、波爾多アル、頓ベルリビルオタ、ワラ、祿哀蘭ル、惹克遜ル、比爾林根フリー、ホルト及ガリスブルグ等ノ諸府アリ、

此邦初メ音邦ト共ニ一部ノ地タリ、皆佛人ノ墾スル所、後英國ノ為ニ奪ハレ、千八百九年別立シテ一部ヲナシ、後邦會ヲ立ツ、

默疏理邦

默疏理邦、北緯三十六度三十分ヨリ、四十度三十分ニ至リ、東經百二十四度三十七分ヨリ、百三十一度二十分ニ盡ク、表面一萬千二百七十九方里アリ、北邊邦ト相連リ、東伊邦ニ接シ、東南ハ建邦、南ハ耳邦ニ鄰リ、西南印甸地ニ近ク、西剛邦ニ抵リ、西北拿邦ニ界ス、域内分ツテ百郡トス、人口百七十二萬一アリ、地勢、邦中ノ小山、頗ル少ナカラズ、西南ニ一嶺アリ、諸山ニ較レバ、ホゞ高シ、呵撒克山ト名ク、山地木石及ビ各種ノ佳果多シ、又銀鉛銅鐵煤炭等ヲ産ス、邦中ノ小河、縷述スルニ勝ヘズ、其大ナルモノ、邦東ノ密斯昔比河ト、西支







谷中、盛昌都府ノ一ニシテ、街衢方直、官局堂宇、極テ華煥ナルモノ多シ、チエストナト街ノ華麗ナル、オリーブ街ノ清富ナル、皆外人ノ景慕スル所タリ、第四街ハ熱鬧地ニシテ、圓形ノ巨屋高ク聳ヘ、カウテア道ハ、綠樹街ヲ挾ミ、行左ニ方形ノ峻宅ヲ見ル、特ニ新裁判所ノ宏壯ナルヲ望メバ、駭目セザルナク、シヤウス公園ノ瀟洒ナルニ入レバ、終日娛樂セザルナシ、其他「フエアグロウインド」ノ花園、郊外河上ノ水機場等ノ如キ、皆妙所ナラザルナシ、此府黙疏理河ト密斯昔比河及呵海呵河ノ三大河口ヲ占メ、運輸ノ便ニ當リ、且鐵路ノ各地ニ通ズルヲ以テ、内外ノ貿易近邦及ブモノナシ、千八百六十年人口十六万

アリ、十年ノ後已ニ増殖シテ、三十一萬八百餘ニ至レリ、其隆盛想知スベシ、○桑惹比府人口一萬九千五百六十五ハ、邦ノ北西部黙疏理河ノ左岸ニアリ、人口ノ多キ、邦中第二トス、鐵路アリ、桑路斯府、及罕尼波爾府等ニ通ズ、○剛色斯西地府ハ黙疏理河ノ右岸ニアリ、又罕尼波爾岌地拉塞羅拉聖查理斯「プリングス」及「理治門的」等皆繁華ノ小都府タリ、此地、千七百年、佛人初テ開墾ス、耳邦ト一部タリ、五十七年前、始テ別立シテ一邦ヲ為ス、是ヨリ先、國會ニ、三十六度、三十分以北ノ地ハ、奴隸ヲ使役スルヲ許サザルノ定制アリ、此邦ノ聯邦ニ入ルニ及ビ、屢議論アリ



采路斯府遮字士公園



同府外之水場

此シガ、遂ニ一約ヲ創シ、默邦ヲ除クノ外、後來聯邦ニ入  
 ル者アラバ、必ズ前制ニ遵フベシ、默邦ヲ以テ例ト為  
 ス可ラズト定ム、之ヲ默邦和約ト云フ、後又德邦ノ同  
 盟ニ入ルニ及ビ、南部諸邦、議スル所アリ、此約ヲ廢ス  
 ト雖モ、後來南北奴役ノ亂ハ、既ニ此邦ノ聯邦ニ入り  
 シ時ニ朕兆セリ、

愛約娃邦

愛約娃邦、北緯四十度四十分ヨリ、四十三度三十分ニ至  
 リ、東經百二十三度二十二分ニ起リ、百三十度三分ニ盡  
 ク、表面八千五百二十一方里アリ、北梅邦ト鄰リ、東威邦  
 伊邦ニ界シ、南默邦ニ接シ、西拿邦第部ニ界ス、域内分ツ



テ四十九郡トス、人口百十九萬四千アリ、  
地勢、平原ニ較レバ、ホ、高シ、倏チ凹倏チ凸、岡陵相接ス  
ルノ勢ニ彷彿タリ、邦ノ東西各大河アリ、東ハ密斯昔比  
河、西ハ黙疏理河乃チ是ナリ、各河身ヲ以テ鄰地ト分界  
ス、邦内別ニ無數ノ小河アリ、河流各東西ヲ分ツ、西地ヤ  
、高シ、又黙疏理河ト相近シ、故ニ西南ニ流ル、ノ諸河、  
形勢多クハ短促ナリ、東南ニ流ル、モノハ、河道頗ル迂  
遠ナリ、其最著ナルモノ弟磨尼斯、及ビ愛約娃等ノ河ア  
リ、皆黙疏理河ニ會同ス、諸河ノ岸、地土肥潤ニシテ、林木  
秀美ナリ、其曠野ノ區域ニ至レバ、樹木ナク茂艸多シ、遊  
牧ニ供スルニ足レリ、産スル所、五金煤石俱ニ在リ、其中

鐵ヲ至盛トス、麥稻秫芋雜穀、及ビ絲麻果實等皆備レリ、  
貿易多クハ邦外ニ出テズ、土産ヲ以テ相交易ス、  
邦内、奇勝トスベキモノ一ノ山モナク、又著キ高丘モナ  
シ、地形一般ニ平原多ク、タ、高低波浪ノ如ク伏起セル  
ノミ、故ニ記ス可キ景地ナシ、然レモ原野ノ渺茫タル、平  
楚際ナシ、タ、落機長嶺、數百里外ニ磅礴ス、其峰ヲナシ、  
嶺ヲ為、モノ、雪華旭日ニ映シ、燦々五彩ヲ現出ス、亦宇内  
ノ偉觀ナリ、  
首府弟磨尼斯、ハ同名ノ河ト拉哥恩河合流ノ又口ニ在  
リ、府ノ近傍煤炭礦アリ、又盛ニ材木ヲ出ス、水利甚ダ  
宜シ、此府舊名「ホルトデスモン」ト云ヘリ、人口一萬二



千餘アリ、○侘弗克府（人口一萬八千四百三十四）ハ、密斯昔比河ノ右岸ニ在ル繁華都府ナリ、愛邦及ビ威邦ノ鑛山出ス所、鉛鑛ノ市場タリ、此府ノ位置、景色ノ佳趣アルヲ以テ屈指セラル、○侘邊波爾多府（人口二萬三千八百）亦密斯昔比河ニ瀕シタル一都ニシテ、伊邦ノ祿哀蘭ト相對ス、周邊ノ景色亦見ルニ堪タリ、○愛約娃西地府ハ、愛約娃河ノ左岸ニアリ、本邦ノ大學校アリ、○舊首府布爾林克頓府ハ、密斯昔比河畔ニアリ、公立建築頗ル美觀ヲ為シ、商買繁盛ス、同名ノ大學校アリ、○麻須加鎮オスカローサモント、ブレーセント、ト波爾多、麻遜華盛頓、里恩斯、フーミングト等、皆繁華ニシテ、人口多キ市府ナリ、

威仕幹清邦

威仕幹清邦、北緯四十二度三十分ヨリ、四十六度五十八分ニ至リ、東經百二十七度二十一分ヨリ、百三十六度七分ニ盡ク、表面九千二十六方里アリ、北蘇比拉湖ト米邦ニ界シ、東米詩干湖ニ接シ、南伊邦ニ抵リ、西南ハ愛邦、西ハ梅邦ニ界ス、域内分ツテ三十一郡トス、土曠ク人稀ナザルノ人口百五萬四千アリ、地勢、層次ニ隆起シテ覆釜ノ形ヲナス、西北ノ一帶地ハ微シク高亢セリ、然レ其地小湖甚タ多シ、邦内又小嶺數派アリテ、山勢蜿蜒セリ、水路ノ如キハ、邦中河湖寂モ多ク、北ニ蘇比拉湖アリ、北方ノ諸河之ニ入ル、東ニ米詩



干湖アリ、東方ノ諸河、及び直壁注河之ニ入り、西ニ密斯昔比河アリ、邦中ノ威仕幹清河等之ニ入ル、諸小湖多キ中、威尼輩俄湖ヲ以テ、ヤ、大ナリトス、通邦ノ水色、河湖俱ニ皆清澄ニシテ鑑スベシ、氣候ハ平和ニシテ、地利銅鐵鉛煤石膏大木等、及び五穀百果等ヲ産ス、其貿易ハ本境ニアリテ、他人ノ輸出ヲ仰グ、邦内太古ノ遺物甚ダ多ク、且山水ノ美景ニ富メルヲ、遙ニ舊邦ニ勝レリトス、此邦新立ナルヲ以テ云フ所々古代土築ノ堡砦アリ、蓋シ歐人未ダ此地ニ來ラザリシ前、此地ヲ領セシ土人ノ築ク所カ、殊ニ奇トス可キハ、堡砦皆人若クハ動物ノ形狀ニ摸擬セシモノ、如ク、或ハ人ノ坐シテ椅

子ニ倚ル狀ヲナシ、或ハ鼈ノ狀ヲナシ、或ハ「マストドン」巨獸ノ形ヲ為スアリ、○本邦ト默邦ノ境界ニ「ベピン」湖アリ、密斯昔比河ノ瀦澤ニシテ、湖邊懸崖絶壁屏立シ、高サ三百尺ヨリ、五百尺ニ至ル、怪崑參差頗ル奇景ノ狀ヲナセリ、○邦内ノ河急流ニシテ瀑布頗ル多シ、著名ナルモノハ威仕幹清河ノ瀑布、桑路斯ノ瀑布、メノモニ「河」ノ瀑布、クインネセクノ瀑布等ニシテ、何レモ風景佳絶ノ境トス、此他枚舉ニ遑アラズ、  
首府馬地遜ハ、メンド夕湖ト「ナ」湖ノ間、廣漠ナル溪地中ニ在リ、周圍小山多シ、メンド夕湖ハ、府ノ北西ニ方テ、長サ九英里、幅四英里アリ、其水極テ清澄、深サ小火輪



船ヲ泛ブ可シ、モノナ湖之ニ比スレバ較小ナリ、此府千八百三十六年、初テ首府トナル、時ニ茅屋數家、鶏犬寥寥、真ニ荒冷タル閑地タリシカ、人烟頓ニ繁殖シ、現今頗ル著名ノ府トナリ、石造ノ議事堂、公園ノ中心ニ屹立シ、西一里ノ外、大學校ト相望ミ、街衢凡テ華美ナリ、此府又近郊山湖ノ風景ノ佳ナル耳ナラズ、地位高燥ニ、空氣清涼ニシテ、健康ニ適度スルヲ、聯邦中ノ首府、其肩ヲ比スルモノナシ、故ニ盛夏ノ時、此府ニ遊フ者陸續タリ、又鐵路アリ、密華基府、市高俄府、及ビ密斯昔比河等ニ通ス、人口凡ソ一萬、○密華基府、邦中ノ大都府ニシテ、米詩干湖ノ西岸密華基河口ニアリ、市街ハ河ノ兩岸ニ立チ、全都ノ

景、河中ヨリ望ムニ宜シ、河湖ノ便好ク、且各方鐵路ノ中心ニ在ルヲ以テ、貿易隆盛、殊ニ小麥ノ輸出ハ、市高俄府ヲ除ケバ、他ニ比スルナシ、雜穀及材木ノ賣買多ク、各種ノ製造モ亦少ナカラズ、此府亦氣候ノ健康ナルト、繁殖ノ至速ナルヲ以テ著ハル、人口七萬一千餘アリ、○覽星府（人口九千八百八十）亦米詩干湖上ニ在リ、人口ノ多キ、密華基府ニ亞ク、貿易盛大、府中大厦多シ、就中覽星校ノ如キ、著名ノ建造物トス、○業納斯比爾府ハ、ロク河ノ西岸ニ在リ、人口ノ多キ、邦中ノ第三ニ居ル、水利甚ダ宜ク、各種ノ製造所多ク、又鐵路ノ便アリテ、頗ル繁昌ノ都府タリ、烏士克斯（人口二万七千）瓦土爾登（人口一萬五千）、羅克路斯（人口一萬五千）、



テロジ、釵跋干及比百爾堤等、何レモ小繁都トス、○ダ  
ス及蘇比拉ハ蘇比拉湖上ノ繁華トス、マデレシ島ノ  
ポイントハ邦中最古ノ都府ナリ、

梅尼所達邦

梅尼所達邦、梅尼ハ水ト譯シ、所達ハ天青ト譯スベシ、是  
邦ノ水色、天青ノ如シ、故ニ邦名トス、北緯四十三度三十  
分ヨリ、四十九度ニ至リ、東經百二十二度五十五度ヨリ、  
百三十度四十五分ニ盡ク、北ハ英領ニ連リ、東蘇比拉湖  
ト威邦ニ鄰リ、南愛邦ニ接シ、西第部ニ界ス、域内分ツテ  
五十三郡トス、人口四十三萬九千アリ、  
地勢、邦中一帶ニ平地多シ、然レモ湖水許多アリ、大小等

カラズ、皆小河アリテ貫通ス、ホバ串珠ノ如シ、其最大ナ  
ルヲ紅湖ト曰フ、又東北林湖アリ、半英領ニ屬ス、諸湖  
ナ水禽魚類多シ、倚答士克湖ハ、密士昔比ノ河源ナリ、水  
脈邦中ヨリ逕迄シテ東流シ、又南流ス、此河ノ邦内ヲ流  
ル、ヤ、約ニ二百六十六里、其桑安多尼瀑布ノ上流二百  
里、下流六十六里アリ、東境ノ小河、皆之ニ入ル、東北水ハ  
分レテ蘇比拉湖ニ入リ、流レテ桑羅稜斯河ト為リ、同名  
ノ灣ニ入ル、水脈約ノ九百五十里ニ及ブ、邦西又北、捏的  
大河アリ、其流レ亦邦内ヨリ北流シテ、英領ニ入ル、長サ  
約ノ六百里、西境ノ諸河、皆之ニ入ル、密士昔比河ト北、捏  
的河ト源ヲ發スルノ所、相距ルタニ咫尺ノミ、水脈相通

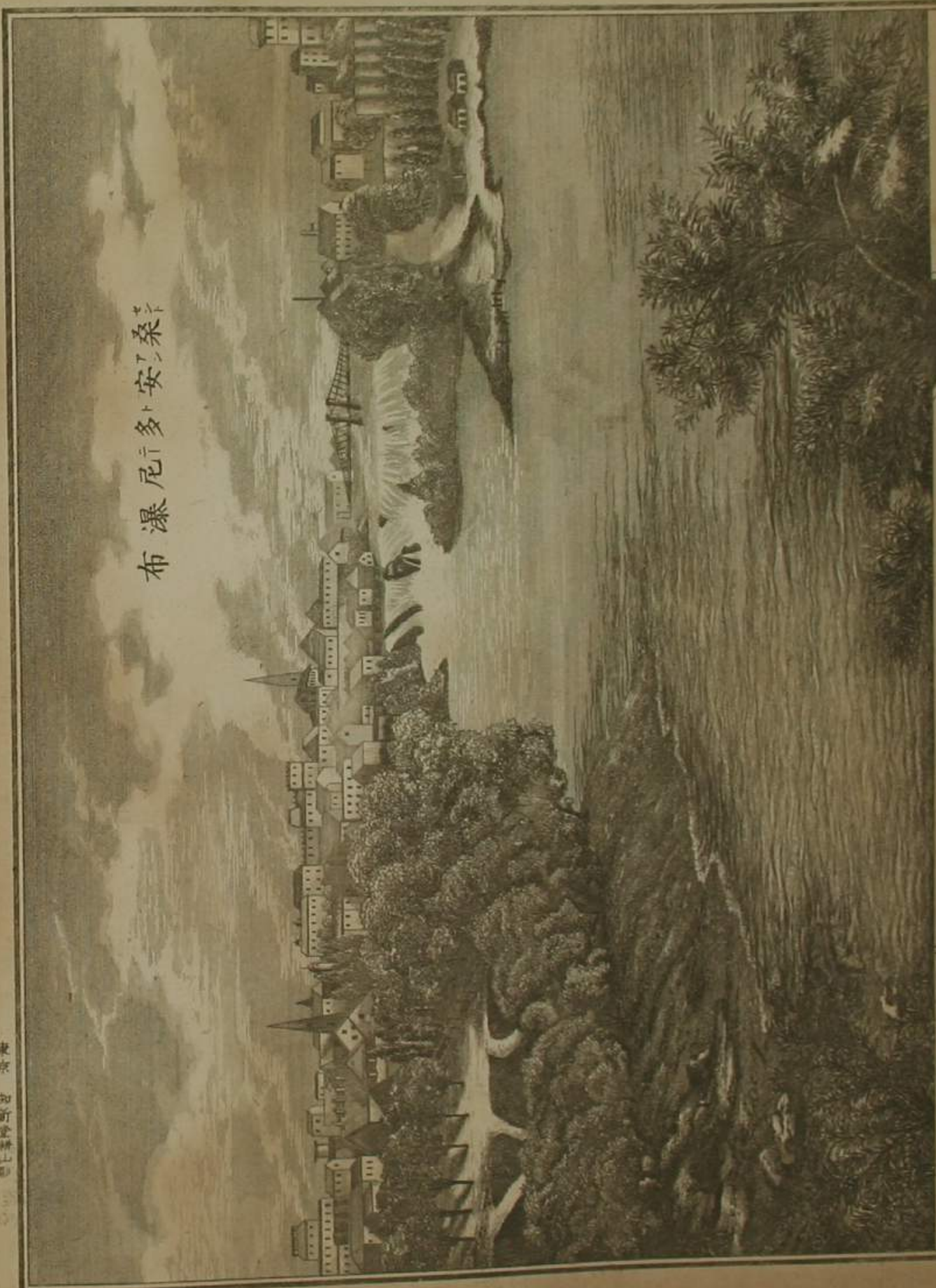


ゼガルヲ以テ間小舟ヲ昇テ過ル者アリ邦中別ニ梅尼  
所達河アリ長サ密士昔比河ノ邦内ヲ流ルニ同ジ西  
界又壁格素河アリ弟部ト分界ノ處ニアリ地味沙石多  
シ林木ノ如キハ皆濱河ノ地ニ生ス其他曠野ノ處タ  
草最モ茂シ平楚一望極目スレ氏際ナシ○氣候甚ダ冷  
ニシテ河氷凝結シ半年ニシテ始テ解ク然レ氏雪甚ダ  
稀ナリ土産五穀百果皆備レリ野米ヲ産スル最モ多シ  
山谿ノ間銅鐵鉛煤野獸等ヲ出ス又此地一種ノ紅泥ア  
リ陶器ニ作ルベシ  
邦内ノ奇勝河湖多ク瀑布多キヲ以テ著名ナルモ少  
カラズ今其什ガ一ヲ舉ン最モ壯觀ナルハ桑安多尼ノ

瀑布及梅尼哈々ノ瀑布ニ若クハナシ譯スレバ水桑安  
多尼瀑布ハ密斯昔比河流ニ在リテ尼亞吉拉ノ如ク中  
間一島アリ流レヲ分ツテ二條ノ飛瀑ヲナス西ニ落ル  
モノ最大ニシテ幅三百十ヤルド高サ五十八尺アリ河  
流此ニ至テ乙字狀ヲ為シ其倒注スルノ形玉簾ヲナシ  
銀絲ヲナシ疊綿ノ如ク垂綃ノ如シ其紛灑スルノ水勢  
ハ柳絮ヲ飛シ煙霧ヲ吐ク石ニ激シテ濺盪スルヤ鐵騎  
ノ俄カニ至ルガ如シ對語殆ンド聞ク可ラズ特ニ此瀑  
布ノ名譽アルモノハ荒山谿谷中ノ風趣ヲ以テ桑安多  
尼梅尼波列士二都府ノ中間ニ置キ瀑上一ノ鐵鎖橋ヲ  
架設シ之ヲ間接ス故ニ都人或ハ見テ机席間ノ物トシ



興地誌略  
卷三



桑多尼安瀑布

東京 知新堂精山印

或ハ見テ市中ノ物トス、豈異觀ナラズヤ、梅尼哈々瀑布ハ之ヲ距ルコト遠カラズ、高サ四十尺、懸崖ノ間ヨリ落ツ、景色奇絶ナリ、此他「ブロウン」瀑布「ピロ」ト嵩等アリ、又「ペン」湖ノ東岸「コイ」デ「ン」嵩アリ、高サ四百尺、北岸「ラ」グ「ラ」ン「ジ」山アリ、高サ三百三十尺、共ニ奇勝トス、  
 首府「セント」パウル、密「ス」昔「ビ」比河ノ左岸ニ在ル都府ニシテ、經始以來未ダ數十年ヲ出ザルモ、人口頗ル繁殖シ、現今ハ邦中ノ大都ト稱セラル、聖保羅及太平洋錢路府中ニ過キ、梅尼所達溪ノ錢路ヲ以テ、南西「スカ」コ「ペ」等ニ連続ス、故ニ過客頗ル多シ、此府ノ位置河畔ノ懸崖上ニ在リ、河上ヨリ之ヲ望メバ、最モ美觀ナリ、人口二萬餘アリ、○

興地誌略  
卷三  
嘉理荷尼亞邦  
廿三  
西土



梅尼波列士府人口一萬三千六百六十八、密斯昔比河岸桑安多尼瀑  
布ノ左傍ニ在リ、人口ノ多キ、邦中第二トス、周圍ノ地方  
饒沃ニシテ、耕稼甚ダ盛ナリ、府内聯邦ノ陸軍所アリ、河  
上長大ナル鐵橋ヲ以テ、左岸ノ桑安多尼府ニ達ス、橋下  
即チ大瀑ノアル所、スタイルウールトルウイノナハスチ  
ングマンカトフ、リバウルト等、皆要區ニ在ル都府ナリ、

嘉理符尼亞邦

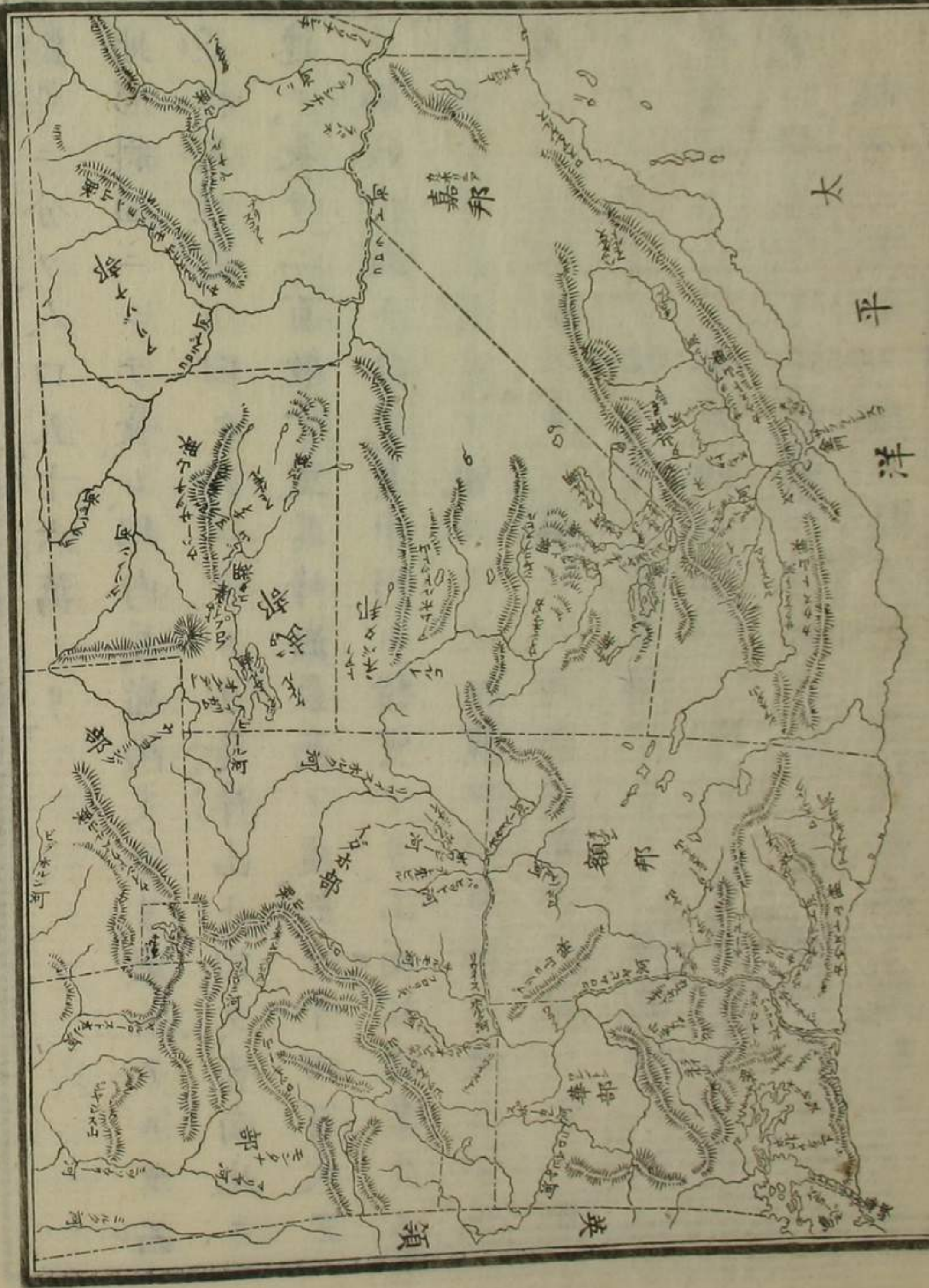
嘉理符尼亞邦、北緯三十二度二十分ヨリ、四十二度ニ至  
リ、東經九十五度五十分ヨリ、百五度五十五分ニ至ル、其  
地、北額邦ニ界シ、東武部、柳部、爾邦ニ鄰リ、南墨是科國ニ  
接シ、西太平洋ニ抵ル、聯邦中ノ西南境ナリ、域内ヲ四十

餘郡ニ分ツ、人口五十六萬アリ、

地形斜曲ニシテ長シ、邦内長嶺兩支アリ、東ニアルヲ西  
亞拉尼哇達ト曰ヒ、西ニアルヲ海岸山ト曰フ、皆南北ニ  
連ル、長サ二百數十里、其峰巔最高ノ處、約ソ千四百丈ア  
リ、曠殺士太ト名ク、夏中仍ホ積雪アリ、山面松椽叢生ス、  
森然トシテ綠色ヲ凝セリ、之ヲ望メバ屏障ヲ廻ス如シ、  
東山ハ金礦最モ多シ、稱スル所、金山是ナリ、現ニ金ヲ産  
スルノ區、長サ凡ソ百十數里、廣サ凡ソ十里餘、邦人名ケ  
テ金田ト曰フ、其他諸山脈、金ヲ産スル處、甚ダ衆シ、僕ヲ  
更テ盡キズ、來テ採礦スル者、亦數ヘ難シ、海内各國人、之  
ニ趨ク、衆水ノ窟ニ赴ク如シ、東西兩山ノ間、地勢寬平



東地言界  
卷三



ニシテ、土壤極テ肥美ナリ、長サ約ソ百六十五里、幅員約  
 ソ十七里、近海一帯ノ地、小灣亦數ナシ、其大灣ハ桑佛蘭  
 西士哥ト曰フ、灣口ヲ金門ト名ク、太平洋ノ港口タリ、河  
 ノ大ナルモノ二脈アリ、北ニアルヲ撒格列明度ト曰ヒ、  
 南ニアルヲ桑卓爾金ト曰フ、其左右ノ小河、皆之ニ歸シ、  
 桑法蘭西士哥灣ニ合流ス、邦南ニ湖アリ、都拉利ト名ク、  
 南方ノ諸小河多ク之ニ注ス、淫雨ノ際ニ當リ、湖水驟カ  
 ニ漲リ、近鄰十數里ノ地、往々水郷ト為ルヲアリ、氣候北  
 ニ至レバ、ヤ、温和ナリ、タ、兩山脈ノ間、盛夏炎蒸最モ  
 盛シナリ、賴ヒニ海風アリ、不時ニ吹盪シ、ヤ、涼爽ナル  
 ヲ覺ユ、地利、金ヲ出スノ外、銀、銅、鐵、水、銀、石、煤炭、大木、咸ク

東地言界  
卷三



備レリ農功出ス所稻麥秫米雜穀絲麻棉花烟草百果蔬  
 菜等皆豐美ニ海濱及ビ河湖ノ内鱗族頗ル繁多ナリ  
 邦内天然ノ奇勝壯觀甚ダ多シ「マルシト」河ノ支流ニ一  
 溪アリ「ヨセミ」ト云フ長サ四里ニ互リ廣サ幾シト一  
 里アリ側面ノ絶壁峭刻詭巖百出直立天ヲ摩シ殆シト



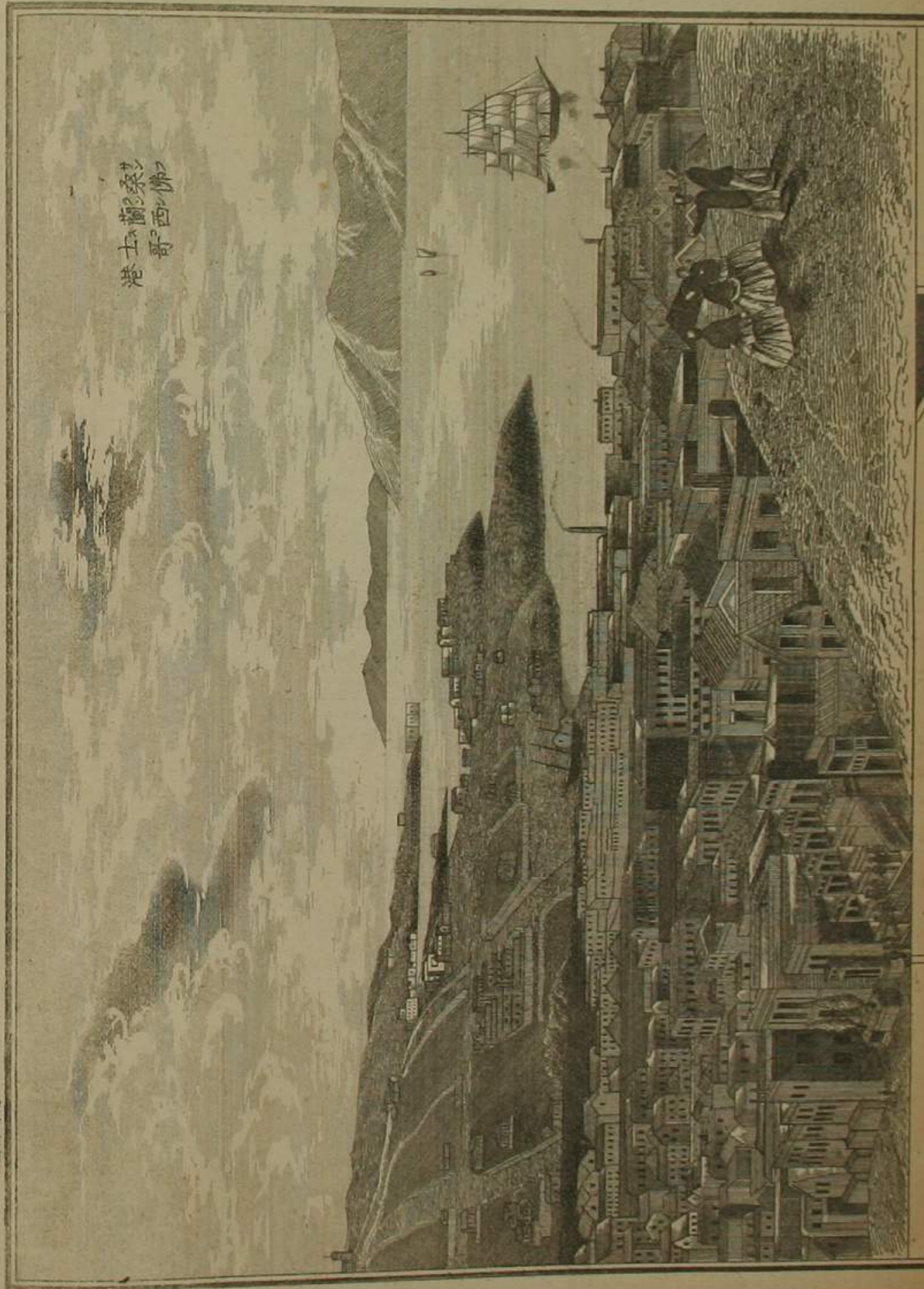
四千尺ニ至ルモノアリ此間大瀑布アリ雲煙ヲ衝テ落  
 ツ「ヨセミ」ト瀑布ト曰フ落勢ヲ計ル者曰フ約ソ二千餘  
 尺アリ直落三層ヲ成ス第一層一千三百尺第二層二百  
 五十尺第三層七百五十尺アリ實ニ世界ノ偉觀ナリ溪  
 中又青艸綠樹蕃生シテ一種ノ趣ヲ添ユ此他仍ホ溪中  
 四瀑布アリ其大ナルモノ九百尺ニ至ル又世界第一ノ  
 大樹アリ「マムモウス」ノ樹林是ナリ殆ト四千尺ノ高地  
 ナル西亞拉尼哇達山中ニ在リ其尤モ著名ナルハ直徑  
 三十尺ノモノ十章三十尺以下十五尺ノ者八十二章稍  
 小ナルモノニ至レバ無數ナリ皆直上シテ天ヲ摩シ其  
 大皆數牛ヲ蔽フベシ就中枯斃セシ一章ノ如キハ其高



サ四百尺、直徑四十尺アリ、想フニ此倒樹、其萌芽ノ原ニ  
潮ラバ、恐クハ二世界中ノ物ニ非ズ、雨淋嵐蝕、樹腹朽虚  
ニ至ルモ、亦數百年ヲ經シ、真ニ球上ノ棟梁ト曰フベシ、  
今此ノ如シ、惜ヒ哉、聯邦ノ騎兵、曾テ此ニ過ク、枵腹十六  
士馬ヲ蔽吞シテ、猶餘地アリシト曰フ、倒樹ノ真圖ハナ  
総説ニ出ス  
バ郡ナル沸騰泉、亦異觀ナリ、熱水ノ迸立スルヲ、高サ二  
十尺、其蒸發氣ノ空際ニ冲ルヲ、百五十尺ニ至ルモノ、山  
中所々皆是ナリ、響キ輕雷ノ如ク、遠地ニ聞ユ、山中又天  
然橋ノ架設五所アリ、トライニチイ郡一橋アリ、シスキコ  
ウ郡二橋アリ、トウリウメンニ橋アリ、皆奇構ト雖モ、甚  
ダ大ナラズ、此他山中瀑布、及ビ洞穴等、數ルニ暇ナシ、

首府撒格列明度ハ、アメリカカン河口ノ下、撒格列明度河  
ノ左岸ニ在リ、桑佛蘭西士哥ヲ距ルヲ、船路五十里アリ、  
船舶日々來往ス、又支流アヒーズル河アリ、小船ヲ泛フ  
ベキヲ以テ、邦内貿易ノ心腹タリ、府内主眼ノ街衢、瓦磚  
木材ノ家屋錯雜セリ、飾ルニ青白ヲ以テ粉装シ、毎戸多  
クハ花園ヲ構フ、人口一萬六千餘アリ、○桑佛蘭西士哥  
府ハ、太平洋ノ東岸、同名ノ海灣ニアリ、帆檣林立、其際ヲ  
見ス、地球上著名ノ一都會タリ、府街廣平ニシテ、宏麗ナ  
ル公立建築多ク、税關金銀局等ノ結構、目ヲ駭スニ足レ  
リ、府内ノ寺院堂塔羈亭ヨリ、演戲場ニ至ルマデ、悉ク高  
大ナラザルハナシ、府下發行ノ新聞、及ビ雜誌ノ類殆ド





サンフランシスコ

知新堂製

五十種ニ至ル、繁榮想ヲ可シ、此府ノ人口、俄然トシテ繁  
 殖シ、邑ヲ為シ、都ヲ為ス、實ニ愕クニ堪タリ、千八百四十  
 五年、此地ヲ開ク時、僅カニ百五十口ニ充タズ、千八百六  
 十年、五萬七千ニ及ビ、後五年ヲ過ギ、殆ト十萬ニ上リ、又  
 五年、十四萬九千餘ニ至レリ、桑佛蘭西士哥灣ハ、太平洋  
 海岸ニ灣曲シ、長サ二十五里、幅廣キ所幾、ド六里アリ、海  
 峽アリ、最低ナル山脈ヲ破碎シ、灣水ヲシテ大洋ト連接  
 セシム、名ケテ金門ト云フ、蓋シ金門ノ名ハ、坤輿上各國  
 船艦ノ輻輳シ、貿易隆盛、兢  
富ヲ致スノ意、ニ取ルト云フ、灣分レテニトナス、南派ヲ桑佛蘭西士哥  
 ト云ヒ、北派ヲサンバプロト云フ、此港特ニ近年ニ至リ、  
 年一年ヨリ殷富ナルヲ以テ、議シテ大西洋岸ニ達スル、



一條千四百里ノ鐵路ヲ連接シ、兩大洋ニ瀛脈ヲ通ス、此  
ニ至テ歐洲東洋ノ航路モ、亦磁鐵相吸フガ如シ、港勢頗  
ニ豹變シ、壓瀾諸邦ノ兩三港ト、伊呂伯仲ヲ争フ、亦近キ  
ニアラントス、○ロースアンジルス府人口五千七百八、同  
名ノ郡ニ在リ、氣候ノ適宜ナルト、近郊好風致アルヲ以  
テ、屈指セラル、府名之ニ原クト云フ、ハ、ロースアンジルス  
ハ、譯シテ神使ノ住  
義ナリ、府外、葡萄園多シ、産出頗ル夥シ、故ニ府中葡萄  
酒ノ大市場タリ、ベニシヤストクトン、人口一萬六千六百マレイ  
スビル、ユーバシチイツノラサンデイゴ一等、亦繁昌ノ  
都會タリ、

額里恩邦

額里恩邦、北華部ニ連リ、東灼灼尼地ニ鄰リ、南武部ト嘉  
邦ニ接シ、西太平洋ニ抵ル、域内二十餘郡ニ分ツ、人口九  
萬アリ、

地勢、邦中長嶺アリ、波濤ノ如ク層見疊出シ、邦ヲ分ツテ  
三部トナス、邦中ノ東ニアルヲブリニ路ト曰フ、黛山ノ義ナ  
リ、邦中ノ西ニアルヲ駕斯結的山ト曰フ、嘉邦ノ西亞拉  
尼哇達山脈ニ連接ス、其沿海ハ即チ海岸山地ナリ、可士  
的捏蚩ト曰フ、臨海地ト譯スベシ、西部ノ地ハ、海山ノ間  
ニ當リ、地土極腴ニシテ、農耕ニ宜シトス、中部モ亦頗ル  
惡カラス、駕斯結的山脈中モ、ントホード山アリ、山中景  
致ヲ具セリ、タゞ東部ノ地ノミ、未ダ開墾ヲ經ズ、荒野甚



洋上遠闊



多シ、邦中河ノ大ナルモ  
 ノヲ科倫布亞河トス、北境  
 ニアリ、華部ト界ヲ為ス、其  
 南支ハ邦東ニ入り、又灼カ  
 尼ト分界ヲ為ス、邦中ノ山  
 嶺、石煤、炭、木科、金沙等ヲ産  
 ス、水族、鱗介ノ属多シ、氣候  
 ハ和暖ニシテ雨多キ地ト  
 ナス、  
 首府撒冷ハ科倫布亞河ノ  
 支流維里約美的河ノ東岸、

沃饒ナル平地、波爾蘭府ヲ  
 距ル二十里ノ上流ニアリ、  
 壓瀾諸邦、及ビ嘉邦ト電線  
 相通ス、維里約美的河高水  
 ノ時年内九月間ハ、小瀛船ヲ泛  
 フ可シ、府内大學校及ビ寺  
 院製造所演戲場等アリ、人  
 口二千五百、○波爾蘭府ノ  
 八千二、ハ、維里約美的河ノ  
 百餘、西岸河口ヨリ湖ル、凡ソ六  
 里ノ地ニ在リ、人烟ノ稠密

禁得、保得、遠望之圖





ナル、貿易ノ繁盛ナル、邦中第一位ヲ占ム、三艘ノ汽船アリ、毎ニ桑港ニ來往ス、府外ノ周圍巨高ナル樅樹ノ茂林アリ、○此他幼成西地、額里恩、ロセブルグ、韃拉士、コルバル、レーズ、巴士維西地、アストリヤ等ノ府アリ、

剛色斯邦

剛色斯邦、北拿邦ニ界シ、東默邦ニ鄰リ、南印甸地ニ接シ、西加邦ニ界ス、域内四十餘郡ニ分チ、人口三十六萬四千アリ、○邦内野地甚ダ廣ク、茂草多シ、遊牧スルニ最モ佳ナリ、西ニ落機山アリ、綿亘シテ南走シ、又旁ラ小嶺多シ、地勢東ヨリ西シ、漸々ニ低下ス、ホヽ平坡ノ如シ、東ニ呵撒克山アリ、此ヨリ蜿蜒シテ默邦ニ入ル、亦頗ル長嶺ナ

リ、此地呵些治河ノ源ヲ發スル所トス、邦ノ東北默疏理河アリ、此ヨリ流レテ默邦ニ至ル、又剛色斯河アリ、其河五大支ニ分チ、皆默疏理河ニ會流ス、邦西又耳剛色斯河アリ、落機山ヨリ、源ヲ發シ、邦中ヲ横貫シ、南印甸地ヲ經テ、耳邦ニ入ル、其餘小河悉ク數ル能ハズ、河濱ノ地林木多シ、氣候全邦ミナ和平ニシテ、種植ノ諸物、南北一ノ如シ、田畝肥沃ニシテ、地利五金煤石、及ビ五穀百菓等皆宜シ、故ニ農工ヲ務ル人頗ル多シ、  
首府トベカハ剛色斯河ノ南崖ニ在リ、理弁維斯ヲ距ル十里、地小都會ト雖、府内ノ建築頗ル宏麗ニシテ、街路廣濶百三十尺ニ及ビ、縱横方正ニ經始ス、家屋ハ三層樓ヲ



多シトス、人口五千七百餘アリ、府内聯邦ノ陸軍所アリ、此地將來ヲトセバ、必ズ繁殖シテ一大都府トナル可キ要地ナリト云フ、○理弁維斯府ハ、邦中ノ大都府ニシテ、默疏理河ノ西岸ニ在テ貿易ノ要區トス、又近傍ハ默疏理溪中、最モ膏腴ノ地方ニシテ、耕稼甚ダ盛ナリ、此府千八百五十四年ニ地ヲ相シ、人烟頓ニ蕃殖シ、六年ノ後人口七千四百二十九ニ至リ、十年ノ後一萬八千口ニ及ベリ、後來直ニ西邦ノ一大盛都ト為ル可シト、識者ノ豫定スルアリ、ア、チーソン府亦默疏理河ノ西岸ニアリ、風趣ヲ以テ著ハル、勞綾斯、曠波坦、惹克賞西地府皆剛色斯河畔ニアリ、此他伯爾多、蘇格、印伯里、阿伊爾、維克、バオラガ

ルネト等亦稍繁昌ノ府ナリ、三十一里ノ間北將、千八百六十一年、此邦及デ、拿邦各一邦ヲ為スニ當リ、聯邦國會ニ、一大議論アリ、之ヲ剛邦拿邦議案ト云フ、其議案ハ、新邦移民ニ、奴隸使役ヲ聽スヤ、如何ノ問題ニシテ、當ニ此二邦ノ為ニ謀ルニ非ズ、南部各邦ノ憑リテ、役奴ノ私利ヲ永ク保存スルガ為ニ興ス所、而シテ此邦ノ植民、當時北部ノ移轉人、南部ヨリモ多キヲ以テ、頗ル異議アリ、南部人更ニ默邦西部ノ兇徒ヲ募リ、兵力ニ據リテ剛邦ノ議會ヲ慟サントス、北部人モ亦報ルニ兵力ヲ以テセリ、此内亂ヤ、遂ニ聯邦全國ニ大亂ヲ致スノ兆ヲ表セリ、



拿布拉士格邦

拿布拉士格邦北緯四十度ヨリ、四十三度ニ至リ、東經百十六度十五分ヨリ、百二十四度五十分ニ盡ク、東西長百八十七里餘、廣サ八十七里餘、面積一萬二千五百九十餘方里アリ、北弟部ニ隣リ、東愛邦ニ界シ、南剛邦ニ連リ、西加邦及ビ弟部ニ接ス、分ツテ四十五郡トナス、人口十二萬二千アリ、○邦内ノ地形、波浪ノ如ク起伏アレ、峻カラス、概スルニ高原地ナリ、西部最モ高ク、東部ニ至テ漸々低平ス、西部ハ沙磧多ク不毛ナレ、東部ハ頗ル耕稼ニ宜シ、河流若干アリ、至大ナルヲ默疏理河トス、邦東ニ在リ、愛邦ト境界ヲナシ、又三十一里ノ間、北部ニ遠リ

テ、弟部ト境ス、邦中ニオブラ、河拿布拉士格河ノ二大水、西ヨリ來リ、邦中ヲ貫流シテ、東境ニ至リテ、之ニ注グ、支流多ク岐聚シテ、内部ノ地ヲ潤ホス、默疏理河ノ支流亦少ナカラストス、氣候温和ニシテ、默邦ニ似タリ、産スル所、東部雜穀類ヲ出ス、多シ、然レ、地味ヲ悉サズ、將來進歩ノ如キハ、期シテ待ツ可シ、  
首府ヲ林根ト云フ、人口二千四百一十一東境ニアリ、呵馬哈西地府ヨリ、拿布拉士格河ニ跨レリ、鐵路相通ス、呵馬哈西地人口一萬六千八十三ハ、邦ノ東南默疏理河ノ西岸ニアリ、此邦第一ノ都府トス、拿布拉士格西地、非利波以、撒林伯的、斯蒙士及テソト等ノ府アリ、居民他邦ヨリ轉移スルモノ多

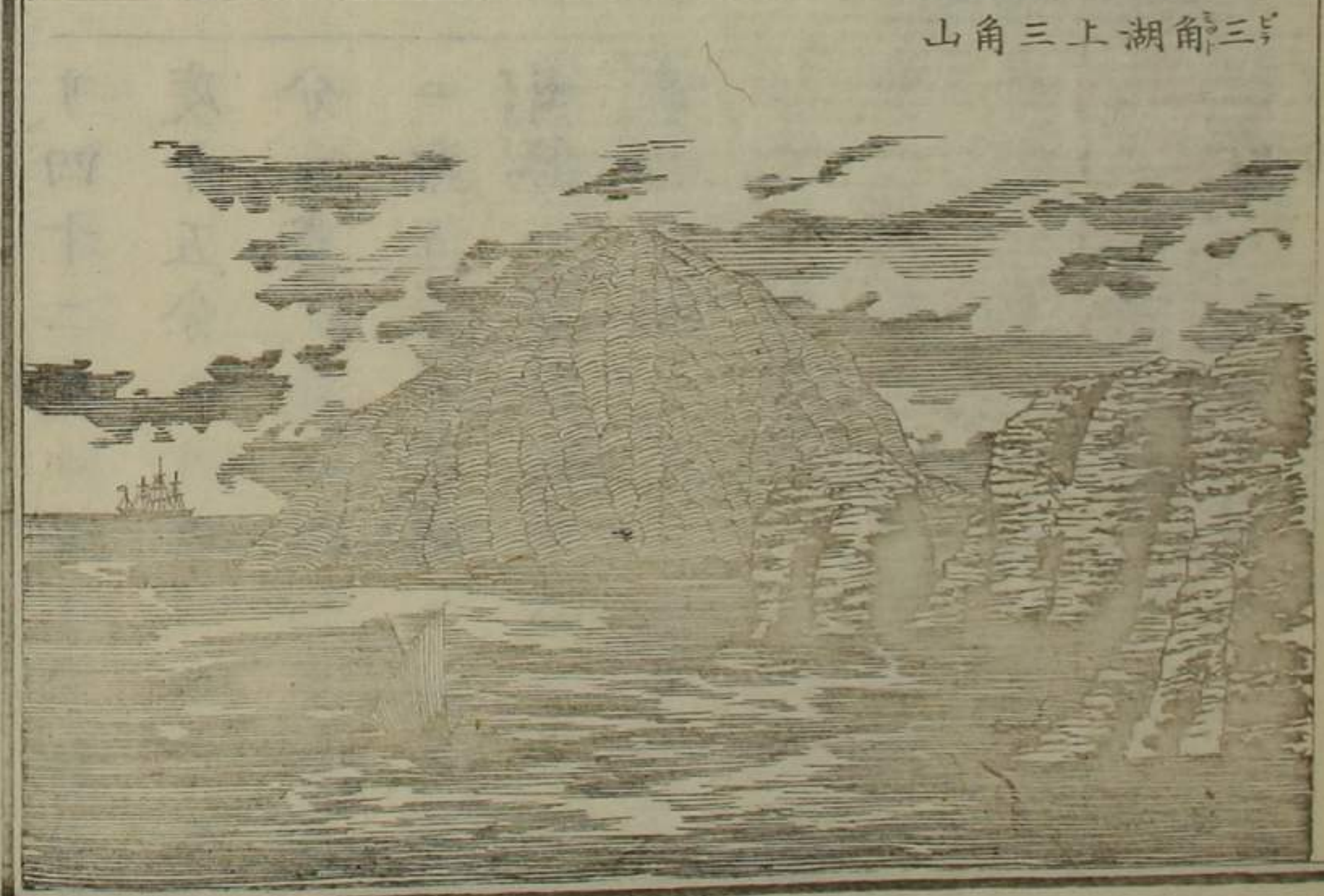






尼哇達山脈アリ、北ニ安波  
 爾得多山脈アリ、東ニ東安  
 波爾得多山アリ、内部低平  
 ノ地ハ、大概砂磧ニシテ不  
 毛タリ、故ニ土地三分ノ二  
 ハ、人ノ棲居シ難キ所トス、  
 西亞拉尼哇達ノ山麓、鹹湖  
 數多アリ、大ナル者五アリ、  
 一ヲ三角湖ト云フ、長サ十  
 四里半程、廣サ六里餘、湖畔  
 險崑屏立ス、山アリ高サ六

山角三上湖角三



百尺三角碑ノ狀ヲナス、湖名ノ起ル所以ナリ、一ヲ瓦給  
 爾湖ト云フ、長サ幾ト十四里、廣サ四里、又加爾遜ト曰ヒ、  
 ムードト曰ヒ、安波爾得多ト曰フ、皆長サ八里、廣サ三半  
 里ニ下ラズ、河ノ大ナルヲ哥羅拉度河トス、僅カニ邦ノ  
 東南ニ入り、又忽チ嘉邦ノ一角ニ浴テ去ル、次ヲ安波爾  
 得多河ト曰フ、同名ノ山ヨリ發源ス、又瓦給爾及加爾遜  
 アリ、源ヲ西亞拉尼哇達山ニ發シ、二河共ニ同名ノ湖ニ  
 入ル、邦中モト湖濬多ク、東西山岳ヲ屏列スルヲ以テ、河  
 脈多クハ邦中ニ起テ、邦中ニ盡ク、他ノ邦部ニ流出スル  
 モノ少ナリ、西亞拉尼哇達山脈ノ谷地ハ、沃土ニシテ頗  
 ル耕稼ニ適セリ、其他皆磽确不耕地ニ屬ス、氣候ハ温和



鑛山鑛業



ニ、空氣ハ乾燥ニシテ、健康ニ適セリ、物産ハ西部ノ外、耕種ノ收納ヲ缺クト雖モ、礦物頗ル富メリ、邦ノ南西部ニ至レバ、金銀銅鐵鉛水銀等ヲ産ス、殊ニ「ストリ」郡ノ銀礦ノ如キハ、聯邦中ニ比類ナシト云フ、○首府カール遜カール遜西地シナイハ同名ノ河西一里半程、西亞拉シイラ尼哇ニバ達ダノ東麓ナル斜坡上ニ在リ、近

郊豐饒ニシテ、風景極テ好シ、府ノ近傍銀坑アリ、一年出ス所、殆ド二百萬弗ニ及ブ、此府千八百六十四年人口二千五百アリ、後六年、七千餘口ニ増加セリ、費治ビルジ尼亞ニヤ西地シナイハ「ストリ」郡首府ノ北東六里ニ在リ、邦内ノ繁昌都府トス、街衢美麗、高樓四五層ニ至ル者アリ、此府ノ富ルハ、千八百五十九年銀礦ノ發見ニ原由スト云フ、宜ナリニ、年後六十四年ニ至レバ、一歳出ス所一千四十三萬弗アリ、故ニ俄カニ殷富ノ形況ヲ顯ハシ、府内瓦斯燈ノ設アリ、又廣平ナル車道ヲ各地ニ通ス、近年此邦大鐵路ノ衝ニ當ルヲ以テ、五洲ノ人過ラザルナク、邦内ノ奇勝、ミナ其秘ヲ漏セリ、人口一萬五千、此他多伊頓ダイトン若古ジャコ必士ビス比爾ビル



及シエノア等ノ諸府アリ、

此邦モト武部ノ一部タリシガ、千八百六十一年別テ部トナリ、二年後六十四年ニ至リ、初テ陞セテ邦トナス、

加羅拉多邦

加羅拉多邦、武部剛邦ノ間ニ介シ、維部拿邦ノ南ニ在リ、長サ百七十五里、廣サ百十二里ニ互リ、面積二萬三千五百方里、人口三萬九千九百アリ、邦内落機山脉、南北ニ蜿蜒シ、分脉數派アリ、至高ノ峰ヲロングス峰ト曰ヒ、一萬二千五百尺、次ヲピックス峰ト曰フ、一萬二千尺、此等ノ山脉中ヨリ發スル河流若干アリ、プラット河耳剛色斯河ヲ大



ナリトス、二河ノ水脈十字形ヲナスヲ以テ、所々小溪地ヲ生ジ、彎形ヲナス之ヲ哈克斯ト曰フ、プラット河ノ北支ハ、北哈克ヨリ發シテ維部ニ流レ、克闌土河ハ、中哈克ニ發シテ、武部ニ流レテ、哥羅拉度河ニ合ス、プラットノ南支及ビ甘剛色斯河ハ、共ニ南哈克ニ起リ、甘剛色斯河ハ東流シテ、剛邦ニ



入リ、南支ハ拿邦ニ入ル、良克蘭土河ハ、落機山脉中ニ起  
 リ、南流シテ柳部ニ入ル、邦内山麓ノ地方、及谷地ヲ除ク  
 ノ外、皆沙磧荒蕪ノ地ニ屬シ、其山林ハ樹木極テ繁生ス、  
 此邦頗ル高峻ニ位スルヲ以テ、其谷地ハ海面ヨリ高キ  
 一、殆ト五千尺ニ出ヅ、故ニ空氣清燥、冬季仍ホ温和、時ト  
 シテ巖酷ナル寒ヲ生ズ、晴雨ノ變、大西洋沿岸ノ諸邦ニ  
 比スレバ、甚ダ急遽ニシテ烈シ、産スル所、耕稼限リアル  
 ヲ以テ、人民賴テ生ヲ為スニ足ラズ、金礦夥シク、又鐵鉛  
 煤炭ヲ出スヲ以テ、居民ノ他邦ヨリ轉移スル者多シ、邦  
 中ノ印甸種チエンネ及「アルパホイス」ノ兩屬アリ、人口三  
 萬七千餘、○首府ヲ典百爾入口四千七百五十九ト曰フ、拿布拉士

格河ノ南支ニ臨メリ、其他哥羅拉度西地、アウラリア、  
 第西地、ボウルデルシチイ、及金田西地等ノ府アリ、

此邦千八百七十五年ニ至リ、部ヨリ陞セテ邦會ヲ立  
 テシム、

華盛頓部

華盛頓部、聯邦ノ北西隅ニ在リ、南額邦ニ接シ、東義部ニ  
 連リ、西太平洋ニ抵リ、北英領ニ接ス、長サ至長ノ所、百七  
 十四里、最廣ノ所、九十六里、表面一萬千七百五十方里ア  
 リ、地勢可士的捏崙山脉、及駕斯結的山脉、額邦ヨリ來テ、  
 部内ニ入ル、駕斯結的山脉中ノ高峰、聖伯林斯、阿丹士萊  
 拉爾、バーキル等ノ如キハ、九千尺ヨリ一万三千三百尺





加羅河上流

ニ至ル、可士的捏崙山脉中、又阿林伯士峯ヲ至高トス、海面ヲ抜クコハ千二百尺アリ、両山ノ間、又數山アリ、其中間ニ横亘ス、磴道ノ如シ、然レモ山内ノ地勢頗ル平行ニシテ、山外ノ地トホ、相似タリ、北ニ如安第不加ノ海峡アリ、此部ト萬古伯爾島ノ間ニ在リ、亞密拉爾朱印拉度ト名ケタル一灣ヲ以テ、大太平洋ニ連接ス、此他各所ニ港口アリ、域内極大ナル科倫布亞河ハ、英領ヨリ來リ、流レテ部中ヲ蜿蜒シ、額邦ヲ分界シ、西流シテ太平洋ニ注グ、河脈中葛斯結的西地ニ至ル四十里間、漁船上下スルヲ以テ、居人ノ便ヲナス、其上流ニ溯リ、落格蘭トワソラ府ノ中間ニ至レバ、河中磊々タル崑石多ク、清流白珠ヲ



噴飛シ、特ニ撒猛瀑布ノ如キハ、磐石平布シ、床ノ如ク、席  
ノ如ク、其窮ル處、嶄然トシテ壁立シ、乙字形ヲ為シ、流水  
倒注ス、溪魚流レテ沂リ、此ニ迄テ迅流ノ為ニ擠セラレ、  
怒躍スルヲ數尺、土人籠ヲ繫ギテ、之ニ下セバ、跳テ入ル、  
印甸人ノ水嬉タリ、又卦以斯波爾克クラーク及蘇波剛  
等ノ支流アリ、○部中ノ氣候、額邦トホミ似タリ、其地味  
ハ谷地ニ於テ、間沃土アリ、駕斯結的山脉地、及ビ南境ナ  
ル科倫布亞平地ノ如キハ、樹木ナク、又水泉ナシ、産スル  
所、巨大ナル松樹ノミ、居人伐テ材トナス、部中主眼ノ所  
産タリ、穀類ハ稍、居人ノ需要ニ乏シカラザルノミ、沿岸  
ノ地、漁獵多シ、近來又金礦ヲ發見セシト云フ、居民移轉

ノ者多シ、印甸種ハ蘇波剛北落土北的及シヨシヨネ諸  
族アリ、人口一萬二千、○首府ヲ阿林比亞ト曰フ、人口二百  
三、波決的淺海ニ瀕ス、頗ル貿易ノ便利アリ、其他著名ナ  
ルモノ、番哥北勒ワラワラスチラコーム波爾土登桑土、  
葛斯結的、西地及バシフツクシチイ等ノ諸邑アリ、○部  
内大學校アリ、セアツテルニ建テリ、千八百六十二年ノ  
構造ニ係ル、

武達部

武達部、尼邦ノ東義部ノ南ニ在リ、長サ百三十五里、廣サ  
百二十五里、表面一萬四千七百七十方里餘アリ、域内ノ  
地勢、落機山脉ノ一支派タルワサチ山脉北ヨリ南ニ過



至高ノ峯アリ、ネボ峰、及ビ登印峰ト曰フ、殆ント一萬  
 二千尺ニ及ブ、部中過半ハ山地、及ビ高丘タルヲ以テ、谷  
 地ノ如キモ、海面ヲ抽クヲ四五千尺ニ至ル、北部ニ大ナ  
 ル鹹湖アリ、格勒土撒土勒幾ト曰フ、鹽氣極テ多シ、鱗屬  
 生スルナシ、鹹湖ノ南、十里程ヲ隔テ、武達湖アリ、中間  
 約擅河アリ、兩湖ヲ連接ス、然レ氏武達湖ハ淡水ニシテ、  
 鱒魚ヲ産スル夥シ、此他セビル湖及斯門爾拉的爾鹹湖  
 アリ、又大河アリ、哥羅拉度ト曰フ、源ヲ加邦ノ落機山中  
 ニ發シ、東ヨリ來リ、又南シテ爾部ニ入ル、其支流ニ格里  
 印克蘭土等アリ、近來哥羅拉度河、漁船ヲ通シ、河口ヨリ  
 本部ノ邊境マデ、往來スト云フ、其氣候ハ緯度ニ比スレ



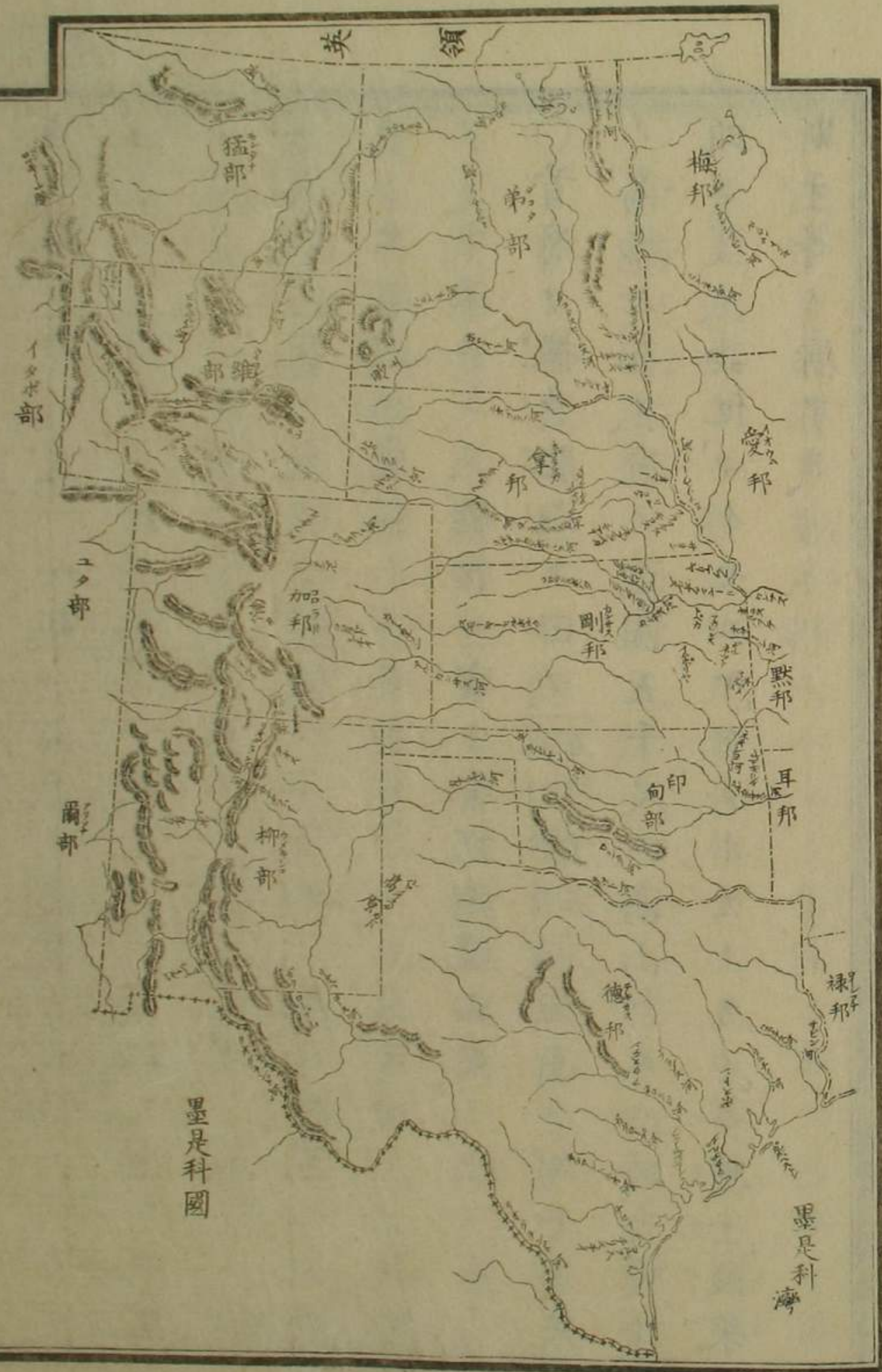
ハ温和ナリ、産スル所、小麥  
 玉蜀黍、裸麥及蔬菜類ヲ主  
 眼物トナス、然レ氏只水利  
 ヲキ地方ニ産スルノミ、其  
 他過半不毛地ニ屬ス、人民  
 多クハモルモン宗ヲ奉シ、  
 一男數婦ヲ娶ル惡習アリ、  
 移民ハ東方ノ各地、及ビ歐  
 羅巴ヨリ轉徒ス、人口殆ト  
 ハ八萬八千ニ及ベリ、印甸種  
 ハ「ユタ」屬アリ、○首府ヲ撒



土勒幾西地ト曰フ、人口一萬二千、約擅河畔ナル著名ノ  
 府ニシテ、新開ノ平地ニ建テリ、府ノ東高山アリ、絶頂ノ  
 雪四時皓然、此他貌菴西地、痾古典字露波、フルモールマ  
 ンチイ等ノ府アリ、

柳墨是科部

柳墨是科部、加部ノ南、印甸部、及德邦ノ西ニ在リ、長サ百  
 六十里、廣サ百四十六里、表面二萬四百八十餘方里アリ、  
 西亞拉尼哇達山脉、蘇雷多爾グウダローハ、哈麻奈斯等  
 ノ小山脉ト共ニ、全部ヲ東西ニ通貫ス、峯高キモノ八千  
 尺ヨリ、一萬尺ニ至ル、河流ノ大ナルモノ、理呵骨蘭及パ  
 イコーシノ二流アリ、支流亦若干アリ、共ニ德邦ニ入ル、





理呵骨蘭河谷地ノ如キハ、耕稼ニ適スレ氏、其他皆瘠土多シ、部ノ中心、及ビ西部ハ山多ク、南東ニルヲノイスタカドノ荒野アリ、此部熱帯ノ境ニ近シト雖モ、極テ高處ニ位シ、特ニ盤旋スル所ノ高山峰巒、四時雪ヲ戴クヲ以テ、酷熱ノ氣ヲ吸收シ、氣候ヤ、温和ニ屬ス、物産ハ玉蜀黍、小麥、雜穀、林檎、梨、瓜、杏、葡萄等アリ、北東、廣漠ナル牧野アリ、牛羊多シ、又礦物ニ富ミ、金、銀、銅、鐵、鉛、炭ノ類ヲ産ス、○首府ヲ撒多肥サタヒ以ト曰フ、人口四十七海面ヨリ七千尺ノ高原ニ在リ、府ノ近傍五千尺ノ高山アリ、四時白雪頂頭ヲ覆フ、其他「マイセルヤアルボカーカイ」多タ奧士波來斯牙等ノ府アリ、

此邦、居民過半墨是科人ニシテ、舊教ヲ奉ジ、西班牙語多シ、他邦ヨリ移住スル者甚ダ少ナク、白哲種ハ理呵骨蘭、壓伯海根ノ谷地ニ住シ、紅人ハ村落ニ住テ、耕稼ヲ事トス、其俗甚ダ平和ナリ、特ニ遜以邑ニ住ム者多シ、人口合テ九萬五千アリ、

爾理瑣那部

爾理瑣那部、武部ノ南、柳部ノ西ニ在リ、長サ百五十六里、廣サ百三十三里、表面一萬九千四百四十方里アリ、地勢比奈乃山脉、北ヨリ南ニ走リ、モゴルヨシ山脉ト交會シテ、十字形ヲナシ、柳部ニ入テ、西亞拉麻多爾山ニ連結ス、峯ノ高キモノヲ桑佛蘭西士哥峰ト曰フ、河ノ大ナル者ヲ



哥羅拉度河ト曰フ、西境ヲ  
 過テ嘉理符尼亞灣ニ注ケ、  
 支流ニ海拉及リオダイリ  
 ノ河アリ、域内地質瘠惡ナ  
 レ氏、河畔ニハ頗ル腴壤ア  
 リ、物産ハ小麥、玉蜀黍、蚕豆  
 瓜類、野菜等ナリ、又礦物ニ  
 富ミ、金銀、水銀、銅礦ヲ出ス  
 頗ル夥シ、居民白皙種ハ墨  
 是科人、及ビ他邦ヨリ移レ  
 ル者ナリ、印甸種属又甚ダ



多シ、其アパチス種ハ猛惡ニメ、鬪争ヲ好ム、北ニモスク  
 イ族アリ、村落ニ住ミ、耕稼ニ従事ス、バイコ匹族ハ海拉  
 河畔ニ住シ、亦耕稼ヲ務ム、○首府ヲ達格遜ト云フ、人口  
二千 其他プリスコ、トタバク、海拉西地、ラパス、及爾理  
十四 瑣那西地等ヲ要府トス、

弟哥達部

弟哥達部、梅邦ノ西、拿邦ノ北、猛部ノ東ニ在リ、部北、英領  
 ニ堺ス、部中長サ百六十六里餘、廣サ百五十四里、表面ニ  
 萬三千六百七十餘方里、人口十四萬アリ、○地形、東部ハ  
 甚ダ高ケレ、山ナシ、南西部ニ墨山アリ、北部ニ湖水多  
 シ、湖ノ至大ナル者ヲデビル湖ト曰フ、其水鹹ナリ、波矮



的河及塞淵河ノ間、巴德蘭ノ義ト稱スル地アリ、長サニ十五里、廣サ十二里ニ出入ス、低窪ナル谷地ニシテ、絶テ植物ヲ生セズ、故ニ動物モ亦跡ヲ停メズ、谷中各種ノ遺骨多シト云フ、河ノ大ナルモノ、默疏理河、北西ヨリ來テ部ニ入り、南東ニ向テ去ル、域内四十里ヲ流レ、南東ノ界ヲナス所、支流數多アリ、弟哥達波矮的華德「シイエ」及比克西維幾士河等、最大ナリ、默疏理河脈、夏時常ニ水多キヲ以テ、波爾多邊頓迄、凡ソ百六十餘里、小汽船ヲ通ス可シ、東界ニ士拉多河アリ、英領ニ注グ、支流アリ、又塞淵ト云フ、南東部ハ土地膏腴ニシテ、默疏理及拉多河ノ谷地殊ニ勝レ、樹木繁生ス、又印甸種屬射獵ノ地アリ、麋鹿

水牛豺狼多シ、○氣候、北部ハ寒暑酷烈ナレ、南部ハ温和ニシテ、健康ニ適セリ、部内ノ物産、玉蜀黍燕麥小麥等ヲ主眼トス、然レ、土產限リアリ、比克西維幾士河畔ニ煤炭ヲ出ス、北部鹹湖アル地方、夥シク食鹽ヲ製造ス、人口五千餘、印甸種ノ此地ニ居スル者、西維幾士、スターテス及拉加里ノ三族アリ、○首府ヲ菴格頓ト曰フ、百七十三、默疏理河畔ニ在リ、ベンピナ府ハ、拉多河畔ニ在リテ、部内ノ舊府タリ、此他塞華格斯、福伊爾、西地イミニザ布蘭路及「メグリ」等ノ諸府アリ、皆未ダ繁盛ニ至ラス、此部モト梅邦ニ屬ス、十九年前、梅邦ヲ陞セテ、邦會ヲ立ルニ當リ、其地ヲ中分シテ、此部トナス、



印甸部

印甸部、<sup>インヂン</sup>德邦ノ北、<sup>アルカサス</sup>耳邦ノ西、<sup>カムサス</sup>剛邦ノ南ニ在リ、長サ百六十餘里、廣サ殆ト百里、面積八千二百方里、人口七萬アリ、地形、西部ハ較高クシテ伏起シ、漸ク南東ニ進メバ、漸ク低ク、又伏起シテ小丘ヲ作ス、波濤ノ如シ、河流ハ<sup>アルカサ</sup>甘剛色斯河、域内ヲ過ギ、<sup>ネオシヨ</sup>及<sup>カナジヤン</sup>カナジヤンノ諸河ヲ會シテ<sup>アルカサ</sup>甘邦ニ入ル、南境ニ<sup>ラッ</sup>拉度河アリ、支流ノ大ナルモノヲ<sup>アル</sup>アルスオシタト云フ、<sup>アル</sup>甘剛色斯及<sup>ラッ</sup>拉度ノ二流俱ニ小瀛船ヲ泛ルニ足レルヲ以テ、頗ル運輸ノ便ヲナス、此他ノ諸河、総テ幅員廣シト雖モ、水流甚タ淺ク、僅カニ旱魃ニ逢ヘバ、乍チ乾涸シテ砂磧茫タリ、北西部ハ、曠漠タル原

野、沙磧ノ地多シト雖モ、其他ノ各地ハ、艸木蕃生シ、蒼茫タル平楚多シ、其東部ノ如キハ、原野頗ル耕穡ニ適シ、物産ホ、近隣ノ邦部ト相均シ、○域内ノ氣候未ダ其詳報ヲ得ズ、東部ハ<sup>アルカサ</sup>ホ、<sup>アルカサ</sup>耳邦及<sup>ヒンク</sup>默邦ニ似タリ、但シ夏候甚ダ長クシテ旱燥ス、晝日ハ酷熱、夜間ハ寒涼、

按スルニ土人ノ種族、今十餘類ニ分ツ、各部落ヲ分ツ、一族毎ニ一方ニ定居シ、各々政治ヲ創立シ、各首領等ノ官アリ、彼此ホ、相和セリ、其人皆族ヲ聚メテ居シ、自ラ村堡ヲナス、耕讀一切ノ業ヲ能シ、亦議院學館等ノ制ヲ具セリ、其部落ヲ為スノ始メヲ問ハ、載籍ナキヲ以テ知ル可カラズ、各族皆四方ニ散處セリ、後、別



國入此ニ移リ来ルニ因テ、互ニ其地ヲ買テ、新國ヲ開  
創ス、即今ノ聯邦是ナリ、是ニ於テ國ノ中央ニ當テ、地  
一區ニ擇ビ、名ケテ印甸地ト曰ヒ、諸族類ヲシテ、悉ク  
此ニ居ラシム、聯邦人、時ニ教ヲ其地ニ傳フ、故ヲ以テ  
其人習俗漸ク移リ、技藝工作、亦駸駸トシテ日ニ盛ナ  
リ、聯邦又之ト約ヲ立テ、各相擾レズ、安居ヲ得セシム、  
茲ニ印甸諸族ニ就テ、其知ルベキ者、ホバ一二ヲ舉ン、  
○知落機族、モト押利結尼山中ニ居セリ、五十年前ニ  
於テ、始テ政治ヲ創シ、後十年、盡ク其地ヲ聯邦ニ賣ル  
ニ因テ、乃チ居ヲ印甸ノ北東二方ニ移シ、耳剛色斯河  
ノ北ニ當リ、約ノ印甸地三分ノ一ヲ占ム、初メ此族文

字ナシ、傳教者ニ化セラレ、別ニ一種ノ新字ヲ創シ、ハ  
十五字ト定ム、字限リアレ氏、其用窮リナシ、今ニ至テ  
之ヲ遵用ス、族類八部ニ分ツ、首領一員アリ、一任四年  
トス、輔理者三員アリ、各一年ヲ以テ滿任トス、外ニ審  
官アリ、三等ニ分ツ、族衆ノ公會、上下兩班ニ分テリ、  
班ハ一部二人ヲ公選ス、計ルニ十六人、上年中集議スル  
班ハ一部二人ヲ公選ス、計ルニ廿四人  
一次、亦聯邦制度ニ法トレリ、諸族ノ内、開化ニ進メ  
ル部分トナス、議院ノアル所、達理卦ト曰フ、知落機族  
部ノ首府ナリ、部内ノ繁華ト稱セラル、○吉栗士族、始  
メ卓雅二邦ニ居ス、後此ニ移リ、習俗政治、皆知落機ニ  
同シ、西米、孛里族ト相鄰リテ、各部落ヲナス、俱ニ耳剛



色斯河加拿他河ノ間ニアリ、○卓道斯族及ビ知格亞  
 騷斯族モ亦合居シテ、加拿他河ノ南ニアリ、文字政治、  
 知落機ニ同シ、其地四部ニ分ツ、卓道斯族三部アリ、知  
 格亞騷斯族一部ニ過ギズ、二族各首領アリ、會議者四  
 十人アリ、議院ノアル所、加密詩ニアリ、二族ノ土人凡  
 ソ男者タレバ、俱ニ兵トナル、マ、聯邦ノ兵タル者ア  
 リ、一部毎ニ兵ヲ督スル者、三十二人ヲ例トナス、別ニ  
 一ノ將軍ナル者アリ、其諸軍ヲ總督セリ、米人禪治以  
上諸族ノ来源、其民皆自ラ解クヲ能ハズ、又載籍ノ考  
フベキナシ、然レモ愚意ヲ以テ之ヲ窺フニ、其形色習  
俗頗ル亞細亞洲人ト相彷彿タルヲ覺ユ、又亞洲人、現  
今マ、太平洋ヨリ風ニ遭テ、聯邦ニ來ル者アリ、或ハ  
其初メ亦此ニ因テ至ルニ係ル、此種又亞米人種ト曰  
モ、亦未ダ知ルベカラズト云ス、

フ其色銅赤色ニシテ、軀幹頗ル長大ニ、髮極テ漆黒ナ  
 到、剪リテ數寸ト為ス、芒刺針カ如シ、總テ之ヲ頂上ニ  
 束テ、飾ルニ毛羽ヲ以テシ、蒙茸タルコ、花ヲ挿ムガ如  
 シ、巾幘ハ熊爪ヲ以テ之ヲ飾リ、背ニ刀鉞及ビ弓矢ヲ  
 負ヒ、足ニハ革靴ヲ穿テリ、其北部ニ居ル者ハ、恆ニ互  
 寒ニ苦ミ、獸皮ヲ以テ衣ト為ス、其南部ニ居ル者ハ、恆  
 ニ炎燭ニ苦ミ、平居裸體ニシテ、布ヲ以テ腰下ヲ蔽フ  
 ノミ、海ニ漁トリ、山ニ獵リシテ、衣食ノ資トナス、五穀  
 ハタゞ黍稷ヲ種ユルノミ、後歐洲人來ルニ及ビ、五穀  
 ノ種ヲ持渡レリ、其以前麥米等アルコトナシ、風俗タゞ  
 男ヲ貴ビ、女ヲ賤ミ、衣ヲ制シ、食ヲ具ヘ、重キヲ荷ヒ、屋



ヲ構ル如キ、一切ノ勞役ミナ婦女ニ為サシム、男子ハ  
漁獵軍役ニ非レバ、終年坐食セリ、居ル所ノ邑里、各々  
一方ニ保集シテ、部落ヲ為ス、其家屋ヲ立ルニ、先ツ柱  
四本ヲ設ケ、木皮獸革ヲ以テ之ヲ葺キ、夕ニ雨露ヲ凌  
クノミ、婦女ノ業ヲ操ルヤ、兒ヲ圓器ニ盛リ、之ヲ壁隅  
ニ置キ、行ケバ背ニ負フ、平生戰鬥搶奪スルヲ以テ業  
ト為ス、黨ヲ連ネ隊ヲ結ビ、武勇人ニ過ル者ヲ推シテ、  
酋長ト為ス、軍ヲ出シ、斬獲スル所アレバ、其面皮ヲ剥  
ク、驍將勁卒ヲ斃セバ、必ズ人ノ面皮ヲ藏シ、或ハ之ヲ  
屋上ニ懸ケ、或ハ之ヲ衣帶ニ貼ス、若シ軍功ヲ語ルト  
キハ、必ズ先ツ貯フル所ノ面皮多少ヲ舉テ、其勇ニ矜

ル、俘獲アレバ、尤モ残忍ヲ極ム、其法男女老幼棍棒ヲ  
執リ、二行ニ竝立シ、俘虜ヲシテ中間ヲ走ラセ、左右ヨ  
リ亂撃シテ之ヲ斃ス、或ハ之ヲ樹梢ニ縛シ、相距ルヲ  
數十歩ニシテ、鉞ヲ虜ノ面上ニ投シ、目眩シ心忪クヲ  
見テ、笑樂ト為シ、中ル者ヲ拙トナシ、中ラザル者ヲ巧  
トナス、之ヲ殺スノ法、先ツ薪ヲ熾シニシテ、之ヲ炙リ、  
繼テ箭ヲ以テ射ル、囚虜モ亦往々屈セズシテ死ス、隊  
中モシ陣亡スル者アレバ、往々降虜ヲ養テ、之ガ嗣ト  
為ス、武幹アル者死スレバ、刀鉞弓矢及ビ愛スル所ノ  
犬ヲ殉埋ス、ミナ謂フ生死異ナレド、此モノ一日モ少  
ク可ラズト、葬埋スルニ棺ヲ用ギ、或ハ土葬ス、子死ス



圖總克哈約西奈



西ニ維多里波爾山アリ、北ニ比克波倫山脉アリ、東ニ北落比留士山脉アリ、葉羅斯土恩河ハ維多里波爾山中葉羅斯土恩湖ヨリ發源シ、北猛部ニ流レ、比克波倫頓貴波拉爾河等、皆之ニ注ク、湖ノ在ル所、奈西約哈克ト名ケ、聯邦ノ公有地ナリ、地、此部ニ屬スト、雖モ、部民ノ得テ專ラニスル所ニ非

輿地誌

奈西約哈克總圖

五十一 西土

レバ、其母尸ヲ樹枝ニ掛ケ、風起リ尸動クゴトニ、哀歌シテ之ヲ哭スト曰フ、各部ノ種族一ナラズト雖モ、其風俗人情大抵相同シ、是其歐洲人未ダ渡來セザル以前ノ俗ヲ云フ、歐人ノ移居スルヨリ、部落散シテ又聚リ、漸ク居テ此部ニ定ム、其教化ニ感シテ性ヲ移ス者アリ、前ニ述ル如シ、要スルニ未ダ悉ク化スル能ハズ、仍ホ凶暴ノ俗ヲ遺スモノアリ

維央部

維央部、猛部ノ南、拿邦及弟部ノ西ニ在リ、長サ百四十六里、廣サ凡ソ百十四里、表面一萬六千七百九十方里アリ、○域内ノ地勢、山岳多ク、落機山脉、南ヨリ中心ニ擴リ、北



東地誌 卷三  
ズ、此他ハルスプラト美日新及斯維登奧達兒等ノ河アリ、部内ノ氣候頗ル健康ニ適セリ、各河畔ノ地、総テ沃土多シ、産スル所、金銀銅鐵鉛炭、及ビ石羔ヲ出ス、又石腦油泉鹹泉數多アリト雖モ、其工事未ダ充分ナラズ、居民皆他ノ邦部ヨリ移轉スル者ナリ、人口未ダ詳カナラズ、○首府ヲ塞淵西地ト曰フ、人口千四百五十此他ヲ、ミイ加爾盆及ラクレデ等アリ、植民多キ地方トス、○部内ノ北西隅一地アリ、奈西約那兒哈克ト名ク、ハクナルハ公有ノ義譯トモ落機山脉中ニ在リ、其地猛部及義部ニ跨レリ、幅員南北二十七里、東西二十三里アリ、聯邦政府議シテ特別ノ除地トス、此地方近代迄ハ、或ハ險惡行ク可ラズト云

ヒ、或ハ鬼魅ノ窟宅ニシテ、人境ニ非ズトシ、敢テ探討スル者ナク、永ク天荒ヲ破ル者アラザリシニ、千八百七十年ニ至リ、初テ全境ヲ巡檢シ、世界ノ一大勝地タルヲ知レリ、此地山極テ秀テ、水極テ清ク、地又僻陬ニ屬スルヲ以テ、幽雅清淑、太古ノ真氣ヲ存ス、誠ニ宇内ノ秘奧ナリ、南東部ニ湖アリ、葉羅斯ヤロスト恩ト曰フ、同名ノ河水、落機山中ヨリ来リ、湖ニ入リテ清瀾萬頃、千峯影ヲ洗ヒ、百澗雲ヲ蒸ス、漂ヘテ滿チ、溢レテ北流シ、洞谷中ヲ過テ、猛部ニ至リ、默疏理河源ニ入ル、其間兩岸ノ絶壁屏立シ、高サ殆ド千尺ヨリ二千尺ニ至ル、嵩石所々奇恠ノ狀ヲ呈ジ、圓柱ヲ以テ、築キタル城砦狀ヲ為スアリ、尖塔及ビ螺旋塔



上河恩士斯羅葉



同湖  
畔泉  
泥泉

ノ状ヲ為スアリ、悉サニ名状ス可ラズ、山中又二大瀑布  
アリ、一ヲ上瀑布ト曰ヒ、一ヲ下瀑布ト曰フ、下瀑最モ美  
觀タリ、又小湖園中ニ星散シ、沸騰泉及ビ熱泉、地脈隱顯  
所々ニ噴出ス、或ハ泥ヲ湧噴スル所ノ泉脈アリ、此他山  
谷中ノ奇觀、一々舉ルニ遑アラズ、圖ニ掲ルモノ、如キ  
ハ、寫シテ世ニ傳ルモノト雖モ、真ニ全境中ノ一斑ノミ、  
此地、千八百六十八年ニ至リ、居民滿テ、始テ一部トナ  
レリ、

猛太那部

猛太那部、弟部ノ西、維部ノ北、義部ノ東北ニ在リ、英領ヲ  
北界トス、長サ二百七十里、廣サ百十餘里、表面二万四千



百七十方里餘アリ、地勢落機山脉、及比克德羅土山脉、部  
 内ヲ貫キテ西境ニ連リ、ジヤジス山脉、中心ニ蟠ル、故ニ  
 地面一般ニ、大小ノ峰巒結シテ、各自位置ヲ占ム、故ニ  
 河流モ亦少ナカラズ、就中黙疏理河源、始テ此部ヲ經過  
 スル所ノ落機山中ニ出テ、北東ニ向テ走リ、支流百出南  
 北ニ旁流ス、葉羅斯土恩、米爾格馬理阿士、シエフルソ  
 麻支遜及ガルラチン等ノ巨流アリ、又葉羅斯土恩ノ支  
 流、ヒグホルン頓求及波德兒等アリ、皆黙疏理ニ朝宗シ、  
 遂ニ千六百里ノ長流ヲ為ス、落機山ノ聯邦ニ入ルヤ、北  
 英領ヨリ来リ、廻環蜿且シテ、此地及ビ華部、義部及ビ維  
 部、尼邦、武部、加邦、爾部、柳部ヲ過テ、墨是科國ニ至ル、此間

峰巒谿谷ノ盤旋突兀スル、  
 及ビ火山ノ礦物ヲ冶陶ス  
 ル、雪山ノ水脈ヲ創始スル、  
 要スルニ國內ノ寶藏ト言  
 ハザルヲ得ズ、真ニ聯邦ノ  
 大筋脈ナリ、此地處々沃饒  
 ナル谷地アリ、南部ハ良材  
 ヲ産ス、然レ氏耕稼ニ佳ナ  
 ラズ、北部ハ氣候寒ク、荒蕪  
 ニシテ不毛ノ地多シ、南西  
 部ヨリ金礦ヲ出ス、民皆堀



土蕃ノ幕居



採沙汰スルヲ以テ主業トス、居人悉ク移轉ノ者ニ係ル、  
其中印甸種ハ、北落不德、歷漢波印斯、マダンス及グロス  
ベントリス等ノ諸族アリ、○首府ヲ費爾治爾亞西地ト  
曰フ、人口八百、其他萬諾西地、ベリナガルラチン、尼巴達  
及的爾落士西地等アリ、

此地千八百六十五年、聯邦ノ一部トナレリ、

義大補部

義大補部、華部及額邦ノ東ニ在リテ、北、英領ニ接ス、長サ  
二百里、廣サ一百十五里、面積一萬五千二百方里アリ、部  
ノ東界、落機及ビ比克德羅土ノ兩山脉アリ、其支派峰巒  
多ク、全部ニ擴布ス、理矮斯波爾格河アリ、域内ヲ遮斷シ

テ西境ニ沿テ流ル、バワジ上、パエ、ト撒猛、古里易等ノ支  
流アリ、又北部ニ格拉古波爾格、及士波剛河アリ、理矮斯  
波爾格、及格拉古波爾格ハ、西境ニ蒼流シ、折シテ西走シ、  
華部ニ入テ加羅拉多河トナル、部ノ南部ニ沃土アレ、  
耕稼ニ適セズ、氣候ハ額邦ニ似タリ、落機山ノ西面ナル  
斜坡ノ如キハ、金礦頗ル多ク、又撒猛里巴拉山中、礦窟多  
シ、居民利ヲ逐テ移住スル者多シ、印甸種ハ、蘇波剛士、  
ラトヘッド、シシネス及番諾格斯ノ諸族ヲ多シトス、○首  
府ヲ波阿塞西地ト曰フ、人口九百、其他利矮斯登、比里斯  
西地、福羅林、斯聖爾比爾、及フセルビル等ノ都邑アリ、  
聯邦未、國ヲ開カザルノ時、歐洲人嚮至貿易スト雖モ、



皆旋來リ、旋返ルニ過ギズ、初ヨリ久居スル者ナシ、英國女王以利撒畢ノ時、英人請テ新地ニ移ル者アリ、費爾治尼ト名ク、後馬邦ノ玳理某ニ移ル者アリ、千六百二十年ヨリ後、九年間新地ニ來ル者、約ソ數千人アリ、後漸ク増スヲ以テ、玳理某等隘クシテ居ヲ容レズ、牛地、洛地、干地等ノ各地ヲ開ク、當時唯稱シテ新英倫ト曰フノミ、後荷蘭人來テ新英倫ノ南ニ居スル者、新荷蘭地ト名ク、紐約是ナリ、新荷蘭ノ南、瑞典人來リ居ス、烏遮爾些ト曰フ、烏地ノ南ヲ特拉華ト曰フ、亦瑞典人ノ居スル所、後皆英ニ歸ス三十二年、英人新地ノ極南ニ居ス、瑪理蘭ト曰フ、後三十二年、費地ノ南ヲ開ク、格

阿利納ト名ク、後南北二地ニ分テリ、尋テ又二地ヲ開ク、一ハ邊西威葉ト曰ヒ、一ハ卓爾治亞ト曰フ、新地是ヨリ遞興シ、百數十年ヲ越ヘ、遂ニ次ヲ以テ漸ク廣ム、當時新地ノ人丁、約ネ百萬、凡ソ英地ニ屬スル者、其官或ハ國中ヨリ派出シ、或ハ英民自立ニ係ル、大槩治ルニ英例ヲ以テス、但其土著ノ民、頗ル畫一シ難シ、故ニ數、分争アリ、既ニシテ佛人亦來テ、新地ノ北ニ居ス、因テ新佛蘭西ト曰ヒ、後又加拿他ト名ク、此ヨリシテ、北西南佛人ノ來リ居スル漸ク多シ、且ツ礮臺ヲ建設シ、新英地ノ變ヲ防ク、時ニ英ノ費地長官ハ、佛人ノ武備ヲ繕修スルニ因テ、華威頓ヲ使トシ、多ク礮臺ヲ設ケ、



我カ兩國修睦ノ素ヲ失スルナキ意ヲ示ス、佛將肯ゼ  
 ズ、費地長官、遂ニ遍ク新聞各地ニ布達シ、千七百五十  
 六年ヲ以テ爭端ヲ啓キ、兵船數十號、將士數千人、兩年  
 ノ間、互ニ爭戰シ、勝負定リナシ、後三年ニ迄ンテ、佛將  
 麟鑿英師吳爾富兩軍ヲ貴壁ノ地ニ對壘シ、大礮互轟  
 兩師均ク重傷ヲ負ヒ、營ニ回テ死ス、獨リ英兵勇進シ、  
 終ニ大勝ヲ獲タリ、其礮臺ヲ毀テ、其土地ニ踞ル、加拿  
 他亦英ニ歸ス、後巴黎斯ニ於テ和議成ル、是ニ至テ、英  
 ノ國債一億八千四百萬磅ニ及ベリ、賦稅ヲ亞米利加  
 屬地ニ課シ、以テ歲入ノ額ヲ增ント欲シ、六十四年初  
 テ亞米利加ヨリ、貨物輸入ノ稅ヲ取ル、明年又印稅ノ

法ヲ立ツ、米人ハ久ク其國ノ寬裕ニ慣レ、此法ヲ聞ク  
 ニ及ビ、人心甚タ恟々タリ、六十六年、英國政府印稅ノ  
 法ヲ停ム、舊例亞米利加ノ民ハ、倫敦府ノ巴力門ノ會  
 ニ入ルコトヲ得ス、是ニ依テ米人以為ク、我儕ハ既ニ立  
 法ニ發言ノ權ナシ、豈賦稅ヲ出スノ理アラシヤト、米  
 人此說ヲ以テ、巴力門ト爭議ス、巴力門中、亦此說ヲ是  
 ナリトスル者アリ、比的ノ如キ、亦宰相格倫非勒ノ舉  
 ヲ以テ、非ナリトス、然レモ英相ハ、前說ヲ執ルコト益堅  
 ク、六十七年、新令ヲ出シ、英國ヨリ米地ニ輸入スル茶、  
 玻璃、紙、染料ノ如キハ、米人ヨリ入口稅ヲ出サシム、米  
 人怒テ出サズ、是ニ依テ英國ノ貿易損害多シ、七十年



宰相諾爾塔、玻瓈以下ノ稅ヲ免シ、唯茶稅ノミヲ存ス、  
亞米利加南部中部ハ、人心稍鎮定セシガ、馬地ノ英  
ノ政府ニ抵抗スルノ意益強シ、後三年、東印度ノ商社、  
數艘ノ舶ヲ以テ、茶葉ヲ載セ、亞米利加ニ來リ、許多ノ  
稅ヲ收メ、以テ英國政府ノ志ヲ達セント欲ス、米人、商  
社ガ英ノ暴政ヲ助ルヲ怒リ、諸港ヲ閉テ商社ノ舶ヲ  
入レズ、特ニ波士頓ニ於テハ、米人、印甸土蕃ノ服ヲ着  
シ、夜ニ乘シテ商社ノ舶ニ入り、三百四十二櫃ノ茶葉  
ヲ以テ、盡ク海中ニ投ズ、國中皆言フ、英王果シテ買稅  
ヲ征セバ、今ヨリ後、寧ロ水ヲ飲シ、英國政府、其罪ヲ治  
テ、波士頓港ヲ鎖ス、翌年九月、亞米利加諸部ノ代議士

費勒特費ニ會シテ、國會ヲ開ク、初メハ唯英國ト通商  
ヲ絶ツトヲ議ス、然レモ其事協ハズ、尋テ英國ト兵ヲ  
交ルニ議定ス、英國モ亦巴力門ノ議ニ從ヒ、兵ヲ米地  
ニ用ルトヲ決ス、英國有名ノ智士、捌爾克比、的等、其非  
ヲ論ズレモ、聽カズ、七十五年四月十八日、兩國ノ兵、馬  
地ノ勒星敦ニ戰フ、是ヲ亞米利加獨立戰爭ノ始トス、  
明年七月四日、米地十三部、檄ヲ四方ニ馳テ、顯ニ獨立  
ヲ告ク、此時ニ當テ、米人、勇智ニ乏シカラスト、雖モ殊  
ニ華盛頓、佛蘭格林ヲ以テ傑出トス、華盛頓ハ加拿他  
ノ戰爭ニ武功アリ、其後代議士ト爲テ、國會ニ臨ミ、遂  
ニ衆人ノ推選ニ由テ、獨立軍ノ大將ト爲ル、然ルニ此



時、代議士ノ中、猶危惧ヲ抱ク者アリ、國人ノ心未ダ盡ク一致スルニ至ラズ、軍律軍儲兵器共ニ缺乏多ク、召募セントスルニ、兵卒ト爲ルベキ者少ナリ、新募ノ兵卒、動モスレバ逃散シ易シ、此ノ如キ艱難輻湊スト雖モ、華盛頓之ニ處レテ少シモ挫折セス、其智勇ヲ以テ、大敵ト戰フヲ八年、遂ニ獨立ノ偉勲ヲ立ルヲ得タリ、佛蘭格林<sup>フランドリン</sup>、幼時家甚ダ貧シ、其父蠟燭ヲ賣リ生計ヲナス、格林ヲレテ之ヲ製セシム、格林屑トセス、日夕書ヲ讀ム、後刷印匠トナリ、四方ニ漫游ス、費<sup>ヒラゲル</sup>勒<sup>ル</sup>特<sup>ク</sup>費<sup>ハ</sup>ニ至ル比、囊儲皆盡キ、唯銀一元ヲ剩ス、旅舎ニ留宿シ、日ニ糜粥ヲ食フ、旅舎ノ婢、物價騰貴ヲ以テ、資<sup>カネ</sup>錢<sup>ヲ</sup>増

ント請フ、格林笑テ曰ク、今ヨリ稀粥ヲ具セ、益、其業ヲ研シ、勉勵シテ已マズ、學力深邃ニシテ、智慮周密ナリ、其避雷杆ヲ創造セシハ、人ノ知ル所ナリ、自主ノ戰起ルニ及ビ、或ハ書ヲ著シ、或ハ談論シ、以テ國人獨立ヲ保ツノ心ヲ固クセシム、米人已ニ英國ト戰端ヲ開クト雖モ、初メ米軍屢利ヲ失ヒ、人心恟懼ス、華盛頓志氣矯マズ、軍中ニ在リ、問アレバ古今義烈ノ事ヲ談説シ、士卒ヲ激厲ス、人々皆感奮シテ、寒夜ニ續テ挾ムノ念アリ、故ニ國中、丁男出テ戰ヘバ、婦女家ニアリ、禾稼ヲ收穫シ、糧餉ヲ運輸シ、互ニ國ノ爲ニ謀ル、家ヲ謀ル如シ、死スルノ心アリ、生スル心ナシ、其至誠力ヲ効ス



婦女ト雖モ、皆此ノ如シ、一日英人麻留古島ニ軍艦ヲ製ス、山ニ入り艦材ヲ採ントス、一少婦アリ、夜竊ニ錐ヲ以テ樹ヲ鑿チ、硝藥ヲ以テ之ヲ火ク、一夜灰燼シテ復タ餘材ナシ、又民兵ヲ募ル、民兵笑テ曰ク、英軍至ル、我レ彼ヲ斃ニ非レハ、彼レ我ヲ斃サン、我固ヨリ死ヲ分トス、タゞ我婦ノ孀タルヲ憐ムノミ、一國志向、是ノ如シ、英人豈志ヲ得ルニ至ンヤ、華威頓強援ヲ佛國ニ求メ、自ラ助ルニ至テ、軍威再ヒ振フ、七十七年十月十七日、米將<sup>カ</sup>的士<sup>ス</sup>、英將<sup>バ</sup>爾若尼<sup>ル</sup>ヲ沙拉多加<sup>ガ</sup>ニ破ル、爾若尼兵ヲ引テ本國ニ還ル、是ヨリ先、佛人、米人ガ英國ニ叛テ自立スト聞キ、拉哈壹多<sup>ト</sup>ヲ以テ、大將ト爲シ、

來テ米人ヲ助ク、翌年佛蘭格林、亞米利加國會使ト爲テ、巴黎斯ニ至リ、自立ヲ認ントテ請ヒ、曰ク我カ民、理義ヲ述ントスルノミ、固ヨリ他意アルニ非ズ、今百折撓マズ、日ニ愈強盛ナリト雖モ、未ダ大國ノ其自立ヲ認ルアラズ、苟モ貴國ノ我が自立ヲ認ルアラバ、特ニ弊邦、肩ヲ各國ニ並ルノミニ非ズ、貴國ノ高義モ、亦天下ニ傳ントス、辭氣懇摯、事理明暢、佛國ノ君臣為ニ感慟シ、遂ニ俱ニ盟約ヲ結ブ、是ニ於テ佛國政府、大將路<sup>シ</sup>賞彪<sup>ト</sup>ニ命シ、軍ヲ率テ米人ヲ援ケシム、佛軍米地ニ在テ、久ク功ナシ、八十一年十月十九日、華威頓路賞彪<sup>ト</sup>兵ヲ合セ、英將<sup>コ</sup>剛克<sup>リ</sup>力<sup>ス</sup>ノ軍ヲ約克敦<sup>ト</sup>ニ擊テ、之ヲ破リ、



追テ之ヲ圍ム、剛コウ力カ盡テ、亞米利加ニ降ル、然レハ  
倫敦ノ巴力門ハルリメントハ、前議ヲ持スルヲ益堅ク、必ズ米人ノ  
自主ヲ折ント欲ス、佛人、米國ノ事ヲ以テ、英人ト仇敵  
視スルヨリ、兩國ノ戦ヒ、移テ東西印度、及ビ歐羅巴ノ  
海上ニ及ブ、英ノ海軍、佛人ト大ニ烏斯散多ニ戦フ、兩  
國ノ軍、勝敗ナシ、明年西班牙王甲列第三、佛國ニ合シ  
テ英人ニ敵ス、然レハ西班牙王ハ、米人衰滅ヲ幸トシ、  
兵ヲ出シテ米人ヲ助ルノ意ナシ、八十年一月十六日、  
西班牙ノ水師提督朗牙刺、英將羅的尼ト三紛森ニ戦  
テ敗績シ、西班牙ノ海軍、大ニ沮喪ス、荷蘭人ハ久ク亞  
米加ト交易ヲ通ゼシガ、此亂ノ起ルニ及ビ、米人ヲ助

ント欲ス、英國怒テ兵ヲ發シ、印度ニ在ル荷ノ属地ヲ  
奪ヒ、又屢、荷ノ水軍ト海上ニ戦フ、八十一年、佛人古利  
侖、西班牙ノ兵ニ將トシ、英ノ米諾架ヲ攻テ之ヲ取ル、  
佛西ノ海軍、又牙賣加島ヲ取ラントス、明年英將羅的  
尼、佛西ノ海軍ヲ瓜達鹿皮ニ破ル、古利侖又英將以略  
的ノ守レル日巴拉大ヲ攻テ克タズ、是ニ於テ、英ノ大  
臣等、戰亂ノ益、大ナルヲ患ヒ、王ヲ勸テ曰ク、米人、衣ハ  
以テ體ヲ蔽フニ足ラズ、食ハ以テ腹ニ充ルニ足ラズ、  
兵起テ以來、今ニ幾年、舉國奮起シテ、百敗撓マズ、是レ  
盡ク其人ヲ殺スニ非レバ止マズ、我レ今全國ノ兵ヲ  
悉シ、之ヲ攻ム、強壯者ハ鋒丸ニ死シ、老少ハ漕輓ニ病



ム、勞費百倍シ、生民塗炭ニ困ム、假令其國ヲ得ルモ、計  
ノ得タル者ニ非ズ、和ヲ講シテ民ヲ息シムルニ如カ  
スト、米人ノ自主ヲ許サシム、巴カ門ノ中、亦前時ノ失  
計ヲ悔ル者アリ、王巴ヲ得ズシテ、之ヲ聽ク、是ニ於テ、  
八十三年一月二十日、英吉利、佛蘭西、西班牙及ヒ米人  
巴黎斯ニ會盟シテ曰ク、今ヨリ米國十三邦、統一自立  
シ、英國ノ統理ニ歸セズト、遂ニ國中ニ布告ス、北亞米  
利加十三邦ノ獨立ヲ許シ、西班牙ニ米諾架ト佛羅里  
達ヲ與ヘ、佛蘭西ニ多巴我ト喀勒亞ヲ與フ、明年英人  
又荷蘭ト和ヲ議シ、盡ク侵地ヲ返ス、荷人尼牙巴南  
度ノヲ英國ニ與フ、和好成ルニ及ビ、米人皆謂ラク、太  
地

平期スベシト、初メ國會、諸將士ト約シテ、禍亂平クノ  
後、終身俸祿ノ半ヲ與ントス、是ニ至テ國用給セズ、將  
士ノ俸ヲ奪フ、衆皆憤テ曰ク、我曹百戰、矢石ヲ冒シ、百  
姓ノ塗炭ヲ救フ、今ニシテ其俸ヲ與ヘズ、後來知ルベ  
シ、國會ニ至リ、約ノ如クセントテ責ム會、華盛頓兵權  
ヲ解キ、田里ニ歸ル、諸將皆以爲ク、大亂ヲ戡定シ、獨立  
ノ基業ヲ立ル者、華君ト我曹ナリ、華君將印ヲ解カバ、  
我曹亦匹夫ナリ、華君ヲ擁立シテ國王トナサバ、我  
曹モ亦封侯タラント、謀ヲ以テ告ク、華盛頓慨然トシ  
テ曰ク、宿德重望アリテ、四海ヲ鎮ルニ足ル者、上帝ニ  
代リ、億兆ヲ治ムベシ、各國帝王、子孫世襲スル如キハ



私ノ尤モ大ナルモノ、我ガ知ル所ニ非ズ、諸將愧謝ス、  
八十七年、米國諸邦ノ代議士、安拿波里ニ會シテ、新國  
ノ政體ヲ議シ、反復討論ヲ經テ、始テ國憲ヲ一定シ、之  
ヲ各邦ニ示ス、各邦皆之ヲ允許ス、其法、國ノ大權ハ、國  
會ニアリ、國會ヲ分ツテ二ト爲ス、一ヲ元老院ト稱シ、  
一ヲ紳董院ト稱ス、國ノ首長ヲ大統領ト曰フ、國民ノ  
公選ヲ以テ職ニ就ク、一任四年ヲ以テ交代ス、其十三  
邦ハ、各自ニ政ヲ爲テ、其邦ヲ治ム、最初ノ大統領ハ華  
盛頓ナリ、此時米國、戰亂ノ後ヲ承ケ、民力疲弊シ、國債  
山積ス、國會、英商ニ借リタル金アリ、英國、使ヲ來シ、屢  
之ヲ責ム、民間時ニ浮説アリ、英國問罪ノ師ヲ起スト、

民心頗ル動搖ス、國會賠金ヲ各邦ニ徵ス、敢テ令ニ應  
スル者ナシ、各邦ニ令シテ賣買ノ貨物ニ征税ヲ加フ、  
衆愈喜バズ、國會亂ノ平クヲ以テ、兵ヲ解ク、兵士概ネ  
皆空橐ニシテ、家ニ歸リ、意殊ニ快々タリ、馬邦人亂ヲ  
誘フ者アリ、人民所在蜂起ス、國會兵ヲ遣リ、討テ之ヲ  
平グ、華盛頓、任滿テ職ヲ解ク、衆懇請シテ再任ヲ乞フ、  
國用給セザルヲ以テ、酒税ヲ加フ、一島民服セズ、官吏  
ヲ逐ヒ、島ニ據テ叛ク、國會兵ヲ遣リ、討テ平ラグ、此時  
ニ當リ、佛國內亂アリ、援ヲ乞フ、議者兵ヲ遣ント欲ス、  
華盛頓、傾聽カズ、英人輒モスレバ、我ト爭論ス、議者其罪  
ヲ問ントス、華盛頓又聽カズ、專ラ農桑ヲ務メ、生業ヲ



理ノ休養生息ヲ以テ事トナス、西方ノ諸部、日ニ墾闢  
シ、陞セテ邦トナスモノアリ、華盛頓職ニ在ル、前後  
八年、米國富庶ノ根礎、盡ク立ツ、九十七年、再任滿テ職  
ヲ解キ、望注嫩ノ田里ニ歸リ、優遊自適シテ以テ年ヲ  
終フ、約翰阿丹士、華盛頓ニ繼テ、大統領ト爲リ、四年任  
滿テ、多馬遮費遜之ニ代ル、千八百七年、羅伯富爾敦始  
テ蒸氣船ヲ造リ、之ヲ哈得遜河ニ泛フ、九年、惹迷士馬  
底遜、大統領ト爲ル、英國政府、人ヲ出シテ、米國軍艦ヲ  
探リ、内ニ英人アレバ、擅ニ捕ヘテ本國ニ送ル、米民ノ  
誤テ捕縛セラル、者多シ、米人怒リ、遂ニ兩國ノ戰爭  
ト爲ル、十二年、兩國戰ヲ開キ、兵連ル、三年、互ニ勝敗

アリ、十四年六月、英兵、波多麥河ニ遡リ、華盛頓ノ都府  
ヲ焚ク、十二月十四日、兩國ノ使者、近的ニ會シテ和議  
ヲ結ブ、十七年、惹迷士、購羅、大統領ノ職ヲ繼ク、購羅謂  
ラク、亞米利加ハ、別ニ一世界ヲ爲シ、歐羅巴ノ紛争ニ  
相關係ス可ラズト、聯邦ノ政ヲ執ル者、多ク此意ヲ奉  
シテ、治國ノ定法ト爲ス、購羅、國中ニ於テ、溝渠ヲ穿テ、  
道路ヲ開キ、以テ陸路ノ往來ヲ便ニス、二十三年、聯邦  
人、亞弗利加西渚ニ於テ、属地ヲ開キ、之ヲ里卑利亞ト  
名ク、專ラ黑人ヲ救フガ爲ニ設ク、時ニ賣奴ニ就キ、米  
國北部ト南部、其意趣ヲ異ニシ、爭論大ニ作ル、是、後年  
南北國亂ノ根源ナリ、此頃、歐羅巴ヨリ、亞米利加ニ移



居スル者衆ク、聯邦ノ人口、頓ニ増加ス、二十五年金思  
阿丹士、大統領ト為ル、二世大統領ノ子ナリ、阿丹士以  
爲ク、外輸ヲ仰グハ、國民匱乏ノ元ナリ、之ヲ停ルハ重  
税ニ如カズト、輸入物ニ重税ヲ課ス、時ニ初テ鐵車路  
ヲ作ル、亞得烈查克遜之ニ代ル、是ヨリ先、西北疆益闢  
ケ、土蕃獵牧ノ地、變シテ邑里トナル、土蕃憤ル甚シ、邦  
會金ヲ出シテ地ヲ買フ、土蕃金ヲ得テ土ヲ納レズ、或  
ハ黨ヲ募テ剽掠ス、伊地北邊、往々之ニ倣ス、三十二年、  
國會兵ヲ出シ、土酋ヲ擒ス、餘蕃懾服ス、後又ジミノル  
スノ土蕃屢叛ク、之ヲ密斯昔比河西ニ徙ス、土蕃服セ  
ズ、三十八年斯骨突ヲシテ征セシム、斯骨突、土蕃ノ山

谷ニ出沒シ、蹤迹詭秘ナルヲ以テ、荆棘ヲ披キ舟筏ヲ  
作り、大兵、巢窟ヲ撞ク、土蕃窮困シテ、約ヲ奉ズ、三十七  
年范標倫代テ大統領トナル、四十一年哈爾遜繼テ立  
チ、幾クモナク卒ス、副統領約殆列代テ國政ヲ司ル、翌  
年舟ヲ遣リ、太平洋諸島嶼、未ダ前人ノ檢出セザル者  
ヲ探ル、四年ニシテ還ル、新西蘭土ヲ得タリ、其地南極  
界ニ亘ル、幅員殆ンド三百里、四十四年、墨是科ノ叛部  
德過瑟斯ノ請ヲ納テ、聯邦ニ列セシム、是ヨリ先、德部  
墨是科ニ服セズ、自立ヲ謀テ成ラズ、是ニ於テ聯邦ニ  
列ス、四十五年、薄克代テ大統領トナル、是年德部ノ事  
ヨリ、墨是科ト戰端ヲ啓ク、老将迭納兵ニ將トシテ進



堡ヲ築ク二十里、令ヲ下シテ四出ノ兵ヲ堡内ニ納ル、敵大軍ヲ以テ路ヲ斷ツ、我が軍連戰皆捷ナ、進テ門多羅ヲ拔ク、國會又斯骨突ヲシテ、他道ヨリ墨是科國都ヲ衝カシム、斯骨突、美羅久留地湖上ノ堅城ヲ拔テ、根據トシ、進テ加留禰耶羅志ニ至ル、岩道險絶ナリ、銃鏃ヲ以テ、石ヲ鑿テ、道ヲ作り、兵ヲ行ル、敵兵、府内ニ充塞シ、精銳ヲ悉シテ之ヲ守ル、斯骨突勇進シテ、數砲臺ヲ陷レ、國都ニ入ル、國人窘窮シテ和ヲ請ヒ、爭フ所ノ北疆、及ビ柳墨是科、上嘉理符尼亞諸邦ヲ納レ、且ツ金四十萬元ヲ出シテ、軍費ニ充ツ、時ニ又英國ト額里恩ノ地ヲ爭フ、四十六年迭納大統領トナル、嘉部ニ於テ

大ニ金坑ヲ發見ス、初メ一鑛匠アリ、地質ヲ檢シ、土沙爛トシテ光彩ヲ吐クヲ見ル、是ヨリ寥々タル空山、變シテ大都會トナル、陞セテ一邦トナス、明年迭羅卒シ、副統領費爾馬大統領トナル、時ニ博覽會ヲ紐約港ニ開ク、銅鐵玻璃ヲ以テ、一大厦ヲ構ヘ、宇内ノ珍異ヲ雜陳ス、費爾馬ノ時、使者ヲ我、日本ニ送テ和親ヲ結ブ、五十二年壁爾斯大統領ト爲リ、五十七年、布堪南壁爾斯ノ後ヲ嗣ゲリ、初メ聯邦ノ南部、黑奴ヲ養ヒテ之ヲ驅役スル、年久シ、北部ノ諸邦、其天理ニ悖ルヲ論ジ、之ヲ廢セント欲ス、是ニ依テ南北兩部ノ爭論、常ニ斷ヘズ、布堪南大統領タル時、剛色斯部議案ノ事ヨリシ



其爭益甚、遂ニ六十年十二月二十日、南格阿利  
納邦先聯邦叛、明年二月卓爾治亞雅拉巴麻福落  
里得密斯昔比、祿細亞納ノ諸邦之ニ應シ、南邦ト共ニ  
亞米利加連合邦ト稱ス、尋テ北格阿利納費爾治尼亞  
典捏西耳剛色斯德過瑟斯ノ諸邦之ニ合ス、此諸邦ハ  
皆奴隸ヲ養フノ民ナリ、二月十八日、叛民等遮費遜大  
威ヲ立テ大統領ト爲シ、兵ヲ出シテ聯邦城塞ヲ壞リ、  
船舶ヲ奪フ、此年布堪南任滿テ、亞伯拉罕林根大統領  
ト爲ル、時ニ林根大統領ノ職ニ即クト雖モ、府庫罄盡  
シ、財用耗缺シテ、目下ノ急ヲ支ルニ足ラズ、其華盛頓  
ニ赴クノ日ハ、景况恰モ囚虜ノ夜間逃亡スルガ如シ、

然ルニ當時南部ノ大威ノ如キハ、威勢赫然、頗ル國ニ  
莅ルノ地歩ヲ占ム、林根直ニ衆ニ告テ曰ク、聯邦ノ憲  
法、各邦分立ヲ許サズ、余已ニ此職ニ居レバ、必ズ背叛  
ノ諸邦ヲシテ、其奪略セシ武庫城砦等ヲ還シ、再  
邦ニ合セシメザル可ラズト、時ニ南軍七千ノ兵ヲ以  
テ、查爾斯敦ノ參的砦ヲ攻ム、馬惹亞德孫七十人ヲ以  
テ守ル、敵兵攻撃極テ烈シ、是ニ至リ、城守スルノ已ニ  
五月、砲墩破壞シ、糧食全ク竭キ、四月十四日、遂ニ砦ヲ  
開テ敵ニ降ル、南軍進テベンサコラノ海軍場ヲ奪ヒ、  
一時破竹ノ勢ヲ以テ、費邦ノ理治門的ヲ奪ヒ、以テ都  
城ト爲ス、華盛頓ヲ距ルノ一百三十里ナリ、七月三十



一日北軍五萬ノ衆ヲ以テ、理治門的ヲ攻ントシ、南軍  
 卜薄爾命ニ戰テ敗績ス、國會五億圓ノ金ヲ出シテ軍  
 費ニ供ス、十一月七日、北部ノ海軍、南邦ノ羅雅城ヲ破  
 ル、六十二年二月十五日、北軍ノ將格蘭多、典邦ノヘ  
 リ砦ヲ拔キ、更ニ進テ鐸尼爾孫ヲ取ル、俘虜一萬二千、  
 大砲四十門ヲ得ル、因テ典邦建邦ノ地、過半ヲ得ル、南  
 軍那實威ヲ棄テ走ル、四月二十六日、北部ノ海軍、新荷  
 連斯城ヲ拔ク、初メ南軍ハ堅ク密斯昔比河口ヲ守リ、  
 此大港ヲ鎖スヲ以テ、北軍意ヲ決シテ進撃シ、南部各  
 邦ノ地ヲ兩斷セントス、海軍將ヲラガット、兵船數十隻  
 ヲ以テ進ム、南軍堅砦ヲ兩岸ニ築キ、河中鎖ヲ張り、加

ルニ火船甲鐵艦ヲ具ヘテ防戦ス、アラガット殊戦シテ  
 之ニ克ツヲ得タリ、是ニ於テ、南部ヲ中斷スルノ形便  
 ヲ得ル、此際北兵費邦ニ破レ、海軍場ヲ破毀セシキ、其  
 兵船ヲ海底ニ沈メシヲ、南兵之ヲ浮揚セシメ、船首ニ  
 鐵甲ヲ裝シ、全身鐵板ヲ被ラシメ、巨大ノ砲碩ヲ備ヘ、  
 進テ費邦ノハムプトンロード港ニ入り、北船ヲ衝破  
 シ、更ニ兵艦二隻ヲ港内ニ逐蹙ス、北軍又一種ノ甲鐵  
 船ヲ造リ、モニトル號ト曰フ、俄カニ灣内ニ來テ、兩甲  
 鐵ヲ戰ハシム、南軍敗シテ走ル、甲艦相戦フ、是ヲ始ト  
 ス、大將馬古爾蘭波多麥ノ兵二十萬ヲ率キテ、理治門  
 的ヲ攻ム、南軍マナサス十五萬ノ兵ヲ以テ對戦シ、屢



戰テ互ニ死傷多ク、既ニシテマナッサス、創ヲ被ルヲ以テ、名將黎之ニ代リ、理治門的ノ沼澤ヲ隔テ、北兵ヲ困メ、其退クニ及ビ、尾撃シ、勝ニ乘ジテ北部ニ侵入ス、北軍更ニ三十萬兵ヲ募リ、之ヲ防支スト雖モ、南軍屢競ヒ、八月二十九日、薄爾倫ニ戰ヒ、復々敗績ス、黎ハ更ニ進テ、瑪邦ノフレデリックヲ略ス、九月十七日、北軍安地軍ニ捷テヨリ、黎遂ニ波多麥河ヲ渡リ、兵ヲ費邦ニ還ス、北軍將ヲ替ヘ、バルンサイドヲ以テ軍ヲ督シ、兵ヲ進メテ、十二月十三日、弗勒得力堡ニ敗績シ、軍ヲ收テ、ラッパハンノック河ノ北岸ニ據守ス、明年五月二日、又蓋塞羅維爾ニ敗ル、南將黎又進テ華盛頓府外ノ要害

ナキ地ヨリ逼ラント欲ス、林根又十萬ノ兵ヲ募リ、メードヲ以テ將トシ、七月三日、南軍ト揭地堡ニ戰ヒ、其兵五萬ヲ降シ、大砲三百ヲ奪フ、黎ハ其華盛頓府ニ逼リ難キヲ察シ、徐ニ其兵ヲ退ケ、營ヲ列ネテ、北軍ト對陣ス、此際、北部西方ノ軍ハ、格蘭多進テ密邦ノ堅砦威克斯堡ヲ攻撃シ、砲丸兩注ス、城中窓ヲ穿テ起卧シ、且ツ糧竭キ、驢肉亦盡ルニ至ル、城將ヘンブルトシ兵士三萬、大砲三百門、小銃七萬ヲ以テ降ル、祿邦ノガートヒドソン砦モ亦降レリ、是ニ於テ、南部地方ハ密河ヲ以テ、兩斷スルヲ得タリ、北軍ノ氣勢、復々振フ、又南西面ハ、北將ローセクランズ、南將ブラグヲ走ラセ、六月



更ニ撃テ典邦ノ外ニ逐ヒ、追撃シテ、チカモウガニ敗績シ、南軍又進テ典邦ノ拉格奧土ノ兩山ニ據リ、チヤクヌーガヲ目下ニ望ミ、進撃セントス、適格蘭多勝兵ヲ以テ來リ、三日間、劇戦シテ山上ノ南兵ヲ逐下シ、捕獲頗ル多シ、是ニ於テ、ノキスウキイルノ圍モ亦自ラ解ケ、南軍費邦ニ退ク、又海軍ハ進テ南邦ノ查勒斯頓港ヲ略セント欲シ、港内ノガムトル堅砦ヲ、甲鐵數艦ヲ以テ砲撃シ、頗ル苦戦スト雖モ、戦艦破レテ利アラズ、陸軍ノ來リ援フニ會シ、進テ益砲撃ス、堅牢無比ノ砦壘モ、破壞スルニ至レリ、六十四年、南部ハ前年ノ敗ニ報ント欲シ、老幼ヲ問ハズ、皆軍役ニ入ル、北部

モ亦徵集スル所ノ兵、既ニ九十七萬ニ及ビ、六十六萬ハ之ヲ戰地ニ配布ス、是年セルマンハ密邦ヨリ軍ヲ還シ、セイモウルハ海路ヨリ福邦ニ達シ、大敗シテ兵ヲ退ケ、陸軍將ハンクス海軍將ボルトルル祿邦レックト河ノ役モ、亦全ク利ヲ失ヒ、密斯昔比河ノピルロウ砦ハ、南部ニ下リ、尋テ北部ノウキルレハ砦モ、亦攻陷セラレ、是年ノ初メ、北兵到ル所、皆利ヲ失フ、大統領林根以爲ク、將帥ノ統御ナキガ爲ナリト、大将格蘭多ダ悉ク戦機ヲ得テ、指畫一定變ゼザルヲ觀テ、三月三日格蘭多ヲ以テ、軍務總督ニ任ズ、是ニ於テ、旌旗精明、部伍整備、頓ニ一變ス、格蘭多以爲ク、南兵ハ戦線ノ短キ



ガ爲ニ常ニ交互相轉移シ、應接ス、之ヲ妨礙スルハ、全  
軍ヲ以テ、一時諸道ヨリ並進セシムルニ如カズ、セル  
マンヲシテ兵十萬ヲ以テ、卓邦ニ赴カシメ、自ラ費邦  
ノ軍營ニ赴キ、數十萬兵ヲ節度シ、メードヲシテ軍ヲ  
進マシメ、又バンクスヲシテ、南方ニ在ル軍ヲ合シ、海  
軍將ヲアラカッタト共ニ、雅邦ノ麻庇理港ヲ撃シメ、モン  
ロイ岩ノバトトレルニ令シテ、メードヲ援ケ、理治門的  
ニ進マシメ、サイゲルヲシテ、西費邦瑪邦邊邦ノ界上  
ヲ守リ、兼テ典邦ノ東境、及び費邦ノ鐵路ヲ破毀セシ  
メ、總軍規律ヲ守テ進撃ス、メードハラピグン河南ノ  
叢林中ニ、黎ト戦ヒ、其軍ヲ退ケ、進テ一週間連戦ス、兩

軍ノ死傷其數ヲ知ラス、黎又退テ、理治門的ヲ距ル、數  
里ノ外ニ防備ス、南將ヲイルリ潜カニ瑪邦ヲ侵シ、巴  
里底莫府ニ逼ントス、北將セリタム迎ヘ戦ヒ、連戦シ  
テ之ヲ破ル、又セルマンノ十萬兵ハ、卓邦ノタルトン  
ニ、シヨンストンガ六萬兵ヲ敗リ、追撃シテ各地ニ轉  
戦シ、悉ク勝算ヲ握リ、南將ブードガ来リ代ルニ遇ヒ、  
又屢戦テ屢勝チ、九月二日アトランタノ堅砦ヲ陷レ  
テ休憇ス、此戦ヤ、北兵三萬、南兵四萬ノ死傷アリ、又進  
テ卓邦ノ要害颯番拿ヲ略シ、港内ナル北部ノ兵船ト  
相通ス、是ニ於テセルマンハ林根ニ書ヲ贈リ、大砲百  
五十門、綿花二萬五千包等ヲ以テ、今耶蕪誕辰ヲ賀ス



ト、南將ブードハ典邦ニ屯スルト、マスヲ襲テ敗レ、死者一萬八千、大砲五十門ヲ失ス、此時ニ當リ、格蘭多ハ查勒斯頓ニ戰フ兵ヲ助ケ、サムトル砦ヲ大ニ砲撃シ、又海軍將ブアラカトハ砲船十四船、モニトル三艘ヲ以テ、磨庇理港ニ大戦シ、水雷ニ火毀セラルト雖モ、甲鐵艦ヲ奪略シ、堅砦ヲ陥入ル、ヲ以テ、大勝ヲ得タリ、此年大統領選舉ニ當ルヲ以テ、黨派ヲ分チ、頗ル紛紜アリシカ、遂ニ林根ノ再任ニ決ス、時ニ英國南部ノ爲ニ造ル所ノ軍艦雅號アリ、佛國海岸ニ於テ、北部ノ軍艦ト戦闘シテ沈没セラル、英國嘗テ南部ノ爲ニ數隻ノ軍艦ヲ製シ、洋中ニ往來シテ、北部ノ商船ヲ鈔掠

スルヲ記ス可ラズ、是ニ於テ北部ヨリ英ノ政府ヘ賠償ヲ要ス、英國充耳ノ如シ、遂ニ議シテ巴西、意大利、瑞西三政府ニ委シテ論セシム、三政府議シテ英國ヨリ千五百萬元ヲ米國ニ交付セシム、北軍ハ、大將格蘭多ガ節制ヨリ、各道ノ進撃、向フ所敵ナク、南軍漸ク衰兆ヲ現出ス、六十五年一月、維民登ノ要害ヲ攻撃シ、遂ニ全府ヲ略定ス、セルマンハ、颯番拿ヨリ、南邦查勒斯頓ノ鐵路ヲ毀ツ、故ニ二年間、百方攻撃シテ、未ダ全ク陥入ラザリシ良港モ、二月十八日ヲ以テ、降ヲ乞ヒ、南將ハーダ「殘兵ヲ率テ北軍ノ南北格邦ヲ進撃スルヲ支ントス、セルマン」已ニ軍機ヲ察シ、縦隊ヲ放テ、各路



ニ要撃シ、鐵騎ヲ驅テ、鐵路ヲ破毀ス、故ニ南軍一聚ス  
ルヲ得ズ、遂ニ南邦ノ科倫布亞府モ亦降ヲ乞ヒ、府内  
ノ綿庫ニ放火ス、其火全府ニ漫延シ、憐々ベシ焦土ト  
ナル、セルマン進テ北邦ノ各所ニ戰勝シ、維民登ヨリ  
來ル兵ト相合シ、兵氣大ニ振ヒ、鯨波翻湧シテ進路ス、  
格蘭多ハ、各道ノ聲援ヲナシ、更ニカンビーヲシテ、雅  
邦ノ磨庇理灣ヨリ上陸シ、同府及ヒ雅邦ノ内地ニ逼  
ラシメ、典邦在陳ノトーマスヲシテ、其騎兵ヲ、南ハ雅  
邦東ハ費邦ニ進マシメ、又モリダシヲシテ、費邦中部  
ノ鐵路ヲ毀テ、溝渠ヲ填メ、理治門的ノ郭外ニ逼ラシ  
メ、三月二十四日、令ヲ全軍ニ下シ、二十九日ヲ以テ理

治門的ヲ攻撃セシム、南將黎ハ、各地ニ轉戰スト雖モ、  
百敗ノ餘、遂ニ支ヘズ、電信ヲ以テ、理治門的ノ大統領  
大威ニ報ジ、堅砦悉ク陥リ、要害ノ據守スベキナシ、  
トトルスビユルグ理治門的ノ二府保テ難キヲ以テ  
ス、大威之ヲ聞テ、倉皇銀鋪ノ貨幣ヲ收メテ、執政數人  
ト逃亡ス、二府守防ナキヲ以テ、格蘭多進テ、トトル  
スビユルグニ入り、別將ヲシテ、理治門的ニ入ラシム、  
黎ハ仍ホ殘兵ヲ率テ、トートンウキールニ死戰スト雖  
モ、衆寡敵セズ、大砲十六門、戰士七千ヲ失ヒ、餘兵ヲ收  
メ、退クニ當リ、北兵四集シテ逼リ、更ニ逃ルベキ一路  
ナキヲ以テ、全軍ヲ以テ格蘭多ノ門ニ降ル、此三月間



黎ノ率ル所、七萬五千兵、死亡三分ノ二ニ過グト云フ、  
 總督黎カ既ニ降ルヲ聞キ、各地ノ南軍、忽チ瓦解シテ、  
 悉ク降ヲ告ゲ、數年ノ兵氛、全ク一洗スルニ至レリ、大  
 威ハ、逃レテ卓邦<sup>ゼキルダク</sup>ノイルウインウキールニ至リ、忽チ  
 北兵ニ捕獲セラル、是ヨリ先キ、北部戰勝ヲ賀シ、一大  
 劇場ヲ演ス、大統領林根<sup>リンケン</sup>、場ニ臨メリ、豈圖ランヤ、俳優  
 ウキルケスブースハ、南黨ニシテ怨ヲ報ル爲ニ、演劇  
 中、窃ニ短銃ヲ以テ林根ヲ擊殺ス、國民之ヲ聞テ悲哀  
 セザルナシ、林根ノ横死ニ因リ、副統領<sup>ジョンソン</sup>大  
 統領ニ任ジ、專ラ寛柔ヲ以テ、南部ノ叛黨ヲ懷ク、人民  
 頗ル悦服スト、雖モ、却テ國會ニ於テハ、其柔ニ過ルヲ

咎メ、議論沸騰シテ、二年ヲ經テ止マズ、既ニ新大統領  
 選舉ニ際シ、又黨派ヲ分ツテ、投票シ、遂ニ偉績アル格  
 蘭<sup>ラド</sup>多ヲ推テ大統領トナス、爾來國運日ニ隆盛ヲ極メ、  
 六十七年、七百二十萬元ヲ以テ、魯領亞刺斯加<sup>アラスカ</sup>ヲ買收  
 シ、大ニ版圖ヲ廣ム、國內ノ鐵道敷テ七萬四千里ニ及  
 ブ、就中太平洋鐵道ノ如キハ、一路三千三百里、一週間  
 ヲ以テ、兩大洋ニ達ス、電信線ノ長サ、十六萬里ニ走リ、  
 高船ノ多キ、三萬艘ヲ運用ス、學校ノ盛ナル、教會ノ普  
 キ、殆ンド宇内ニ冠タルモノ歟



輿地誌略卷三 西半球之部



明治十年二月十四日版權免許

書林

纂輯人

東京府平氏

近藤圭造

第六大區一小區  
深川富岡門前町七十番地

出版人

同

坂上半七

第一大區六小區  
吳服町十二番地











